

(社) 兵庫県理学療法士会

平成22年度決算総会次第

期日；平成23年6月5日

10：00～12：00

場所；兵庫県立総合リハビリテーションセンター
研修ホール

1) 開会宣言

2) 会長あいさつ

3) 定足数報告

4) 表彰式

5) 議長団選出

6) 書記任命

7) 議事録署名人任命

8) 議事

第1号議案

平成22年度事業、決算報告ならびに監査報告承認を求める件

その他

9) 議長団解任

10) 閉会の言葉

平成 2 2 年度決算総会資料目次

1) 平成 2 2 年度決算総会次第-----	表紙
2) 平成 2 2 年度事業総括-----	2
3) 平成 2 2 年度事業報告-----	9
4) 平成 2 2 年度収支決算報告-----	2 6
5) 平成 2 2 年度監査報告-----	3 8
6) 表彰-----	3 9

平成 22 年度事業総括

会長代行 岩井信彦

平成 22 年度も残り 3 週間となった 3 月 11 日、三陸沖を震源とする巨大地震が発生しました。津波が家屋をまるごと押し流していく映像は、言葉を失うほど凄まじく目を疑うばかりでした。一つひとつの家には家族が集いそこに生活があったことに思いを馳せると本当に心が痛みます。このたびの震災で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。本士会としても、被災された方々に一時でも早く元の生活を取り戻していただくため様々な支援に取り組んでいきたいと考えております。

さて、本年度の総括です。特に重点をおいた事業は 4 点ありました。1 点目は第 47 回日本理学療法学会大会開催に向けての準備です。年度当初は大会本部役員を中心に構成された「準備委員会」で大会の骨組みを検討してきました。8 月にイベント会社（株式会社コンベンションアカデミア）が決定してからは、運営局、学術局、広報・渉外局、事務局の局長、副局長、各部の部長に本部役員を加えた「実行委員会」を定期的に開催し準備を進めました。（社）日本理学療法士協会の理事会で企画案の承認を得るに至っています。2 点目は淡路ブロックの独立です。東播磨ブロックから独立した淡路ブロックでは中林ブロック長の指示のもと計画通り勉強会、研修会等を開催し、順調にブロック活動をスタートさせています。3 点目は理学療法講習部の立ち上げです。（社）日本理学療法士協会の新人教育プログラム「理学療法士講習会基礎編（理論）」を各県士会が企画運営するというもので、この任を理学療法講習部が担いました。「肩関節の解剖と理学療法」「下肢切断の理学療法」「物理療法の基礎（兵庫会場）」「クリニカルリーズニング入門編（in 神戸）」の 4 講座を本県で開催することができました。4 点目は各会議参加に対する日当の支払いです。会務に対する僅かばかりの“気持ち”としてお納め願えたのではないかと思います。

本年度士会運営に関し舵を切ったことに法人選択があります。現在本士会は社団法人ですが、法の改正により平成 25 年 11 月までに一般社団法人か公益社団法人かを選択しなければなりません。局長会議でも議論を重ねましたが、公益事業、財産の所有等多方面から考えますと一般社団が適切な選択ではないかと考えています。

各局の事業総括はまず事務局からです。総務部では速やかで正確な会員管理を期してホームページ等を充実させてきました。会員の異動届けや休会届けについても士会ホームページから行うことが可能となっています。財務部では、本士会の運営に不可欠な会費の徴収と各部、ブロックに活動費の支払いを行いました。広報部は、新部長の采配のもと新しい企画も盛り込み「士会だより」（第 135 号～第 139 号）を 5 号発行しました。会誌編集委員会は「理学療法兵庫」の編集が主な会務です。本年度特別寄稿 1 編、講座 4 編、報告 1 編等充実した内容の第 16 巻を発行することができました。ホームページ委員会では会員への迅速な情報伝達手段としての役割をもっと果たせるよう随時ページを更新しました。システム管理部では会員管理、財務管理システムの充実を行ってきました。厚生部には急増する新人会員の新人歓迎会を本年度もスムーズに運営して頂きました。

次は学術局です。卒後教育部では、本年度は毎回会場を変えて新人教育セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲを開催しました。土曜や日曜祭日も診療を行う病院施設が多くなっており、受講機会の分散化を今後も検討していく必要性を感じています。卒前教育部は本年度は研修会を 3 回、参加しやすいように会場を毎回変えて開催しました。この影響か特に新人教育プログラム対象者の受講者が多かったようです。研修部では理学療法技術に関する研修会と 2 日間の実技講習会をそれぞれ 2 回開催しました。また新人向け技術講習会も 4 回行うことができました。理学療法講習部は本年度スタートした部です。県内ばかりでなく近畿他府県からも多くの参加者があり、充実した講習会を開催できたものと思っています。

社会局の保健福祉部では公開研修会、研修会、リハビリ・介護方法公開講座、介護講習等指導

者養成講座の4つの事業を実施しました。健康増進部は県看護協会主催看護の日・看護フェアへの参画、研修会の開催、公立学校共済組合兵庫支部への講師派遣、県震災復興支援事業「まちの保健室」の運営協力が主な活動です。特に「まちの保健室」では部員と40名の協力員（各地区の会員理学療法士）体制を整えこの事業に参画しました。この部はまだ発足2年目ですが、活動の広がりには目を見張るものがあります。資料調査部では県士会白書の作成準備、施設案内作成に関するアンケート調査、診療報酬改定に関する資料作成等を行いました。特に白書は兵庫県における理学療法、理学療法士を取り巻く情勢をまとめたもので発行が待たれます。渉外部では求人情報、傷害保険、賛助会員の管理に関する会務を行いました。理学療法啓発部では理学療法一日体験の開催と、ふれあいの祭典で啓発活動を行いました。1日体験では中学生の参加者が多いとは言えず、今後検討の必要性を感じています。スポーツ活動支援部の活動は年々拡大しています。これに伴い協力スタッフを増やしていくことも重要な活動です。派遣と育成に一層取り組んでほしいと思います。職能部では日本理学療法士連盟総会、研修会に出席し情報収集を行いました。また「自由診療」をテーマで研修会を開催しました。

ブロック局のトピックは何と云っても、淡路ブロックが独立して11ブロックになったことです。新生淡路ブロックをはじめ各ブロックともに、研修会や啓発事業を積極的に行いました。中でも新人発表会は新人の急増に伴い多くの難題を抱えています。工夫を凝らした運営で発表会を成功させています。本年度の県学会（第23回兵庫県理学療法士学会）は、但馬ブロックが担当し朝来市文化会館ジュピターホールで開催しました。テーマを「転ばないための体づくりと環境づくり」とし、公開講演、教育講演、一般演題34題と盛り沢山の内容で、参加者も668名と非常に盛況な学会でした。

現在、ブロック局担当の山本理事を中心に士会組織改変案を取りまとめています。会員の急激な増加やわれわれ理学療法士の勤務体制の多様化に呼応していくには、本土会が行ってきた研修活動や啓発活動を新たなものに組み直していくことが必要です。本年度は各部部員、ブロック運営委員の協力で改革案の骨格が出来上がりました。「士会だより」第139号に山本理事が改変の方向性について述べています。

表彰事業では(社)日本理学療法士協会協会賞に嶋田智明氏(神戸大学大学院保健学研究科)を推薦しました。本土会「会長賞」には沖山努氏(神戸リハビリテーション病院)、「功労賞」には平山昌男氏(兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター)、畠康博氏(市立加西病院)、「奨励賞」には杉原勝由氏(太子町役場)、三星健吾氏(三木市立三木市民病院)を推薦しました。長年の活動本当にありがとうございました。

最後になりますが、今年度も会員みなさまの協力を得て、計画通りに事業を執行することができました。協力頂きました会員みなさまには心よりお礼申し上げます。

尚、梶平会長が体調不良のため、現在休暇を取っています。その関係で副会長の私が会長代行として平成22年度の事業総括を致しました。

事務局活動総括 **事務局長 沖山 努、事務局担当 間瀬教史**
〈総務部〉

総務部の活動は例年通り行われました。士会より会員の皆様に対する情報提供は、即応性の観点から、ホームページの占める割合が増えてきました。速やかに情報を更新する等の対応もしていただいております、さまざまな情報が提供されていますので、ぜひご活用ください。

〈財務部〉

財務部の活動も例年通りでした。会員各位のご協力にお礼申し上げますとともに、会の運営に不可欠な会費納入について、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

会員数の増加に伴って、総会の開催に必要な委任状の確保が難しくなっています。会員の皆様におかれましては、一人でも多くの方の総会出席をお願いしますとともに、どうしても出席できない場合の委任状は、期日までにご投函いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

〈広報部〉

広報部では、例年同様に「士会だより」を年5回発行いたしました。新しい試みとして「各部だより」「各ブロックだより」「部紹介リレー」の記事を掲載して参りました。

〈会誌編集委員会〉

本年度から理学療法兵庫の学術誌としてのレベルをより向上させるため、投稿論文の査読を開始いたしました。また、特別寄稿1編、講座4編では、会員の皆様の臨床に役立つ内容を掲載するよう心がけております。

〈ホームページ委員会〉

ホームページ委員会では、より利用価値の高いホームページにするために、県士会内で行われている研修会や各種の行事を随時更新してまいりました。県士会行事のスケジュールをカレンダー形式で表示するシステムを導入したことで各種事業のお知らせが速やかに行えるようになったと思います。さらに、より見やすく、より早く掲載できるような形式にリニューアルを進めています。県士会員への迅速な情報伝達の手段としてお役にたてるように検討を行っています。

〈システム管理部〉

システム管理部では、以前より進めておりました会員管理システムと財務部管理システム、新人教育プログラムの単位管理が一体化したシステムが本格的に稼働し始めました。これにより事務手続きの効率化が図れるだけでなく、県士会内で行われている会員管理の多くが一元化できることになりました。今後もシステム管理の効率化を図るために随時修正を加え、更新していきたいと考えております。

〈厚生部〉

厚生部では、毎年行っております新人歓迎懇親会を行いました。歓迎会を通じて、新入会者がブロックへの所属意識をもち、一会員として県士会活動に参加していただくきっかけとなる事業にしたいと考えております。

学術局活動総括 **学術局担当 鮫島一雄**

〈卒後教育部〉

日本理学療法士協会生涯教育プログラムの基礎となる新人教育プログラムを新人教育セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲとして行いました。新たな制度に変わりました認定あるいは専門理学療法士の資格取得のためにもこの新人教育プログラムの履修は必須となります。卒後3年目までの会員を対象に、社会情勢などに応じたテーマで第一線の講師をお招きして開催しました。本年度は毎回会場を変えて開催いたしました。新人教育セミナーⅠは昨年並みの参加人数でしたが、Ⅱ・Ⅲにつきましては昨年の2倍の参加者があり、研修に対する新入会員の意識の高さが伺えます。

新入会員の増加と勤務施設の多様化に対応して多くの新入会員が参加しやすい開催日や開催場所を工夫し、さらに興味をもって参加していただけるような企画をこれからも行っていきます。理学療法士の責任を果たすために日々研鑽し続け、知識・技術の向上に努めていきたいと思っています。

〈卒前教育部〉

兵庫県内で理学療法士養成校（現在13校）の新規開校が進む中、臨床実習のあり方（指導内容・指導方法・施設と学校との連携、等）は大変重要なテーマであります。これらを検討する場やテーマを提供するという役割を卒前教育部は担っております。臨床実習に関する研修会を昨年度までは2回でしたが、平成22年度は3回開催しました。さらに会員の皆様が参加しやすいように、開催場所を神戸・姫路・三田と毎回会場を変えて開催し、多くの会員とくに新人教育プログラム対象者の受講が多くありました。

今まで近畿理学療法士養成校の中心的な役割でありました近畿理学療法士養成学校連絡協議会が平成22年度で解散いたしました。これにより、卒前教育部の役割がさらに重要になります。今後も、外部講師を招いた研修や内容等を検討し、より多くの会員が参加したいと思う研修会を今後も開催していきたいと考えております。

〈研修部〉

理学療法技術に関する研修会と2日間の実技講習会をそれぞれ2回開催しました。どちらも参加者が非常に多く、有益な研修を行うことができました。原則3年未満（心疾患の理学療法は5年未満）の新人を対象とした「新人技術講習会」を開催しております。これは、「日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会（応用編）」の兵庫県版です。「中枢神経疾患編：神戸リハビリテーション病院スタッフ」、「肩の機能解剖と理学療法：信原病院スタッフ」、「心疾患の理学療法：神戸学院大学スタッフ、その他」、「呼吸リハビリテーション：兵庫医科大学病院スタッフ」の4回開催いたしました。

4回の新人技術講習会はいずれも多くの受講申し込みがあり、新人会員のニーズに合った講習会でした。今後も新人会員の技能向上のため開催数や内容を増加していきたいと考えております。

〈理学療法講習部〉

日本理学療法士協会主催の理学療法士講習会基本編（理論）を4本企画運営しました。【肩関節の解剖と理学療法】と【下肢切断の理学療法】を神戸学院大学で【クリニカルリーズニング入門編（in神戸）】を神戸総合医療専門学校で開催しました。その他、物理療法研究部会の企画運営した【物理療法の基礎（兵庫会場）】を兵庫医療大学で開催しました。兵庫県士会と近畿ブロックのみならず全国からも多数の参加者があり、有意義な講習会が開催できたことと思います。

今後の課題としましては、兵庫県士会の優秀な講師を全国アピールすることに努めます。また、全国からも有名な講師を招いて興味深い講習会を開催するよう努めます。開催場所はできるだけ偏りがないように各教育機関の先生方のご協力を得て開催できるように努めます。来年度も多くの会員が参加したいと思う講習会を開催したいと思っております。

社会局活動総括 社会局担当 平山昌男、久保田健二、谷本武晴

〈保健福祉部〉

保健福祉部は地域の保健福祉活動の充実と公益事業の拡大に向けて事業展開を図ってきました。平成22年度は、①保健福祉部公開研修会、②保健福祉部研修会、③リハビリ・介護方法公開講座（中央型・地域型）、④介護講習等指導者養成講座の4つの事業を実施しました。

①では、「障害福祉班」と「高齢者福祉班」それぞれの班で、時代のニーズに合わせたテーマで公開研修会を行いました。「障害福祉班」では、「感じていますか子どもたちからのメッセージ～ライフサイクルを見据えて、共に生きるヒント～」について横浜療育医療センター 花井丈夫先生にご講演頂きました。「高齢者福祉班」では、「人を大切にできるケア」のテーマで生き活きサポートセンターうえるば高知 下元佳子先生にご講演頂きました。

②では、「暮らしにつなげる理学療法」のテーマで公立八鹿病院中央リハビリテーション科理学療法士 近藤直樹先生、邊智昭先生と株式会社ひまわり 理学療法士 正木健一先生に講演頂き、回復期の理学療法士が在宅での生活を支援している具体例と病院で理学療法を受けた方が在宅でどのような生活をしているのか、その実態を報告いただきました。

③リハビリ・介護方法公開講座の「中央型」では従来行っていた「本人の持つ力を引き出す介助方法」に加え、スライドボードやリフトを使った「持ち上げない介助方法」を取り入れました。「地域型」では圏域リハビリテーションセンタースタッフと支援病院スタッフのスキルアップにより、保健福祉部部員の支援を減らすことができました。今後も保健福祉部部員の支援を減らしながら、圏域単独で実施できるように支援したいと考えています。

④介護講習等指導者養成講座では、例年通りテキストを用いて「伝え方」を伝える内容で特に「プレゼンテーション技術」についての講義を追加し、実施しました。

〈健康増進部〉

平成22年度は、①兵庫県看護協会主催の看護の日、看護フェアへの参画、②研修会の開催、③公立学校共済組合兵庫支部への講師派遣、④兵庫県震災復興支援事業「まちの保健室」の運営協力を行いました。①では神戸と但馬での看護協会のイベントに参画し、膝伸展筋力測定および日

常の運動習慣についてアドバイスを行いました。②では平成22年12月4日に、「心動けば身が動くーメタボリック・リハビリテーションのための認知心理学」という演題で神戸学院大学の坂本年将先生に講演していただきました。③では当支部主催の生涯生活設計講座での講師として、兵庫県教職員の退職予定者を対象に平成23年1～2月にかけての計9日間、県内各地で「生活習慣病予防のための運動療法」をテーマに講義しました。④では阪神・淡路大震災の復興支援住宅を中心に17か所の「まちの保健室」に対して事業協力を行いました。健康増進部員に加えて40名の協力員の体制を整え、各地で運動機能の評価や健康指導、集団体操などを実施しました。

健康増進部が発足されて2年目ですが事業内容が増えており、県士会員の方の協力を得ながら事業内容を企画していきたいと考えています。

〈資料調査部〉

平成22年度の資料調査部の事業は、①兵庫県理学療法士白書の作成準備、②施設案内作成に関するアンケート調査、③診療報酬改定に関する資料作成・講習会の開催でありました。

①では1.兵庫県の紹介（特徴・統計資料など）、2.地域の紹介（各ブロックの紹介・取り組みなど）、3.教育（新人・生涯教育プログラムについて・学校・学生等のコメント）、4.臨床（各分野の活躍するPTからみたその分野の特徴・紹介、今後の展望など）、5.研究、6.職域拡大、連携（需給調査アンケート・訪問リハビリアンケート等結果、起業を行ったPT、企業で働くPTからのコメントなど）、7.その他の7つの分野に分けて検討を進めてまいりました。特に1.では人口・死亡数や死亡率・医療施設や医療従事者の動向・介護保険サービスの利用状況や施設数・理学療法士人数・ブロック別理学療法士人数・施設基準・回復期病棟数・養成校の学生輩出数・新人の就職先などを検討しております。

②についてはアンケートさせていただき、集計も終了しました。今後、地域連携や情報提供等に役立てていただければと思います。

③については情報収集を行っております。今後必要に応じて、会員の皆様に情報の提示を行えばと考えております。

〈渉外部〉

例年と同様、求人情報（士会だより・ホームページ）・傷害保険・賛助会員の管理に関する業務を行いました。万が一の事故に対して会員や事業への参加者に対する補償を充実するため常に情報を収集し、多様化する士会活動に対応できるように努力しています。また、賛助会員の管理業務も問題なく遂行できました。昨今の厳しい社会情勢のために賛助会員は減少傾向にありますが、少しでも当士会の活動に賛助していただける会員を増やすために、皆さまからの多くの情報提供をしていただくようお願いいたします。

〈理学療法啓発部〉

理学療法啓発部では、理学療法週間の事業としての理学療法一日体験を開催し、また県の事業であるふれあいの祭典でPRブースを設置し啓発活動を行いました。

理学療法週間では平成22年度は従来の高校生対象だけでなく、中学生を対象とした啓発活動も2会場で実施しました。内容に関しては大きな問題は無かったと思っておりますが、参加者は33名と若干少なく今後より充実した活動とするためには検討が必要と考えています。一方、高校生対象の理学療法一日体験は3カ所の会場（関西労災病院・兵庫リハ・姫路赤十字病院）で開催し、128名の参加者を得ることが出来ました。近年参加者数は減少傾向であったが、22年度はやや増加しています。

ふれあいの祭典は有馬富士公園で開催され、ロコモティブシンドロームの説明・対象者の評価・運動指導を行いました。600名以上の方々に参加があり、介護予防や転倒予防に関して理学療法士の役割の重要性を啓発することが出来たと考えられます。

〈スポーツ活動支援部〉

スポーツ活動支援部は平成20年度より新たに発足しましたが、徐々にその活動は拡大しつつあります。今年度も例年通りDUNLOP KOBE OPEN国際車いすテニストーナメントやシッティングバレーなどの障害者のスポーツ現場にメディカルサポートスタッフとして協力してきました。兵庫県サッカー協会が主催する大会では応急処置の他に、小学生から高校生の選手にスポーツ障害予防のためのクールダウンの重要性を指導する場も提供していただきました。すべての大会で大きな

問題なくコンディショニンググループを運営することができました。協力していただいた会員の皆さまに感謝申し上げます。昨年度予算化しておりました視覚障害者サッカー大会につきましては、大会側よりサポート依頼がなくサポートが行えませんでした。

平成 23 年度からは新たに柔道大会のサポートも行います。これに向けて、医師の協力のもと、勉強会や実技講習会を検討しています。

スポーツ活動支援部は各種スポーツ大会の支援だけでなく、それに協力していただく会員の資質向上を図るため研修会を開催しています。協力スタッフは徐々に増えていますが、まだ数・質ともに十分とはいえません。スポーツ分野での理学療法士の活躍の場を広げるために、質の向上を目的とした研修活動も積極的に行っていく予定です。

〈職能部〉

職能部の大きな活動の柱の一つに政治連盟との協働、情報収集があります。本年度は連盟が推す参議院候補の個人演説会（7 月 1 日）に出席し職能関連の情報収集を行いました。その概要を「士会だより」第 136 号に報告しております。また 2 月 26 日に開催された日本理学療法士連盟総会、研修会に出席しました。2012 年度診療報酬・介護報酬同時改定において我々の要望を実現させていくには、組織内議員である山口衆議院議員の発言力を高める必要があります。そのためにも連盟との連携による組織強化がその要諦となります。協会との連携がいかに重要であるか、協会長、連盟会長はじめ総会出席の全員が再認識しました。

職能部の活動のもう一つの柱は、未開拓領域や理学療法士としての先駆的な取組みの研修及び推進に関わることです。今回は「自由診療」をテーマに研修会を開催（3 月 27 日）しました。この研修会の目的は、理学療法士がその立場からどのような概念で利用者の健康に寄与できるのか、法的な問題もふまえて学び、各人が職域の選択肢を増やす一助とすることです。また、自由診療で起業されている講師の専門職としての危機感に触れることで、現状の認識を的確に行うことや、危機意識の高揚を図ることです。

今後もこの 2 本の柱を軸に活動を展開していきたいと思えます。

ブロック局活動総括 ブロック局担当 山本克己、西川仁史

今年度は、東播磨ブロックより淡路ブロックが独立して 11 ブロックによるブロック活動になりました。各ブロックともに、多くの事業を会員の協力のもとで、積極的に取り組みました。社会貢献事業では、一般県民の方々が聴講・参加できる公開講演会や介護技術講習の開催をはじめ、ふれあいまつりや健康福祉フェアへの参画、小学校福祉体験学習などの車いす体験指導、理学療法士一日体験への協力、市町や他団体が企画する健康、予防、介護に関する講師の依頼など活動の範囲も多岐に渡っており、一般県民の方々に社団法人としての責務を果たすとともに、理学療法（士）の啓発活動の重要な場になっています。

第 23 回兵庫県理学療法士学会は、朝来市文化会館ジュピターホールにおいて但馬ブロックの担当で開催しました。疾病や障碍の発生機転であり、さらに要介護状態を重度化させる要因のひとつである転倒に着目し、「転ばないための体づくりと環境づくり」を本学会のメインテーマに掲げ、一般公開講演、教育講演を開催しました。また、一般演題発表は 34 演題でしたが、活発な意見交換が行われました。学会当日は 668 名（会員外 35 名）の参加があり、大きな混乱もなく無事に終了いたしました。本学会への参加者数の増加への対応、内容の充実に向けて、士会全体の組織再編にあわせた運営方法・方向性の検討を進めていきます。

研修会、勉強会、症例検討会も各ブロックで創意工夫され活発に実施しています。自己の技術や資質の向上と理学療法全体の活性化を図っており、多くの会員の参加もあって、ブロック自体の活性化にも役立っています。今後もブロックのニーズや特色を踏まえて内容を検討し、会員がより参加しやすいように工夫してまいります。

新人発表会は、例年各ブロックにおいて卒後教育部との協力体制で開催しており、新人会員の急増に対し会場確保、発表形式、開催日時などの運営上の工夫で対応しています。ブロックにより講演会や研修会と同時開催、一般会員からの演題発表の募集、学会形式の取り入れなど、一般会員の参加も得られやすい工夫をしています。新人発表予定者には事前説明会を開催し、運営委員からきめ細かい支援も行っています。また、土日職場や一人職場などへの検討課題に対しては個別的な対応を含め、今後も細心の配慮を心掛ける必要があります。発表内容では、プレゼンテ

ーション技術はかなり向上していますが、一方で演題内容についての基礎的な視点、分析能力などをはじめ、基本的な社会人としての素養に対する指導が必要な場合があり、先輩や関係諸氏には、演題作成段階からの指導や相談、また新人発表会への参加によるアドバイスを通して新人の資質向上のために協力をお願いしたいと思います。

上記事業以外にも、ブロック内やブロック間での交流、親睦行事も積極的に行われており、会員増への対応、施設間交流、少数職場や経験の少ない会員の相互交流を活性化するためにも、これらの活動は引き続き積極的に行いたいと考えています。

そして、会員の急増、学会、新人発表や各種研修会の運営・方向性などに対して、ブロックの再編、県学会の運営方法の見直しを中心とした、県士会組織改変案を各部・委員会・ブロックの協力を得てとりまとめました。広報誌、総会等で内容を提示しておりますが、さらに当士会が円滑、効率的な運営と事業を展開し、会員の皆様への貢献をはじめ、広く県民に対しても兵庫県理学療法士会が社会的使命を果たすために、鋭意努力してまいりますのでご協力をお願いいたします。

〈表彰委員会〉

表彰事業では、日本理学療法士協会協会賞には嶋田智明氏（神戸大学大学院保健学研究科）を推薦しました。兵庫県理学療法士会「会長賞」には沖山努氏（神戸リハビリテーション病院）、「功労賞」には平山昌男氏（兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター）、畠康博氏（市立加西病院）、「奨励賞」には杉原勝由氏（太子町役場）、三星健吾氏（三木市立三木市民病院）を推薦しました。「会長特別賞」は未だ受賞者が存在しないため会員諸氏からも推薦を願いたいと思います。本会は既に45年の歴史があり、医療福祉分野に非常に優れた業績のある会員が存在します。本年度は叙勲、褒章対象者の名簿作りに着手しました。次年度には候補者を推薦したと考えています。受賞される皆様、本当におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

平成22年度事業報告

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

管 理

(1) 会員管理、総会、理事会の開催

担当 総務部

① 会員管理 (平成23年3月31日現在)

ア. 会員数・・・2888名

イ. 施設数・・・704施設

ウ. 平成22年度会員異動

(平成22年4月1日～

平成23年3月31日まで)

新入会・・・ 351名

県内異動・・・ 200名

転入・・・・・・・ 57名

転出・・・・・・・ 54名

休会・・・・・・・ 45名

復会・・・・・・・ 6名

退会・・・・・・・ 13名

② 公文書

第1号～第111号

③ 受付文書等の管理

④ その他

ア. 発送作業

イ. 慶弔などに関すること

ウ. 総会資料、監査資料作成

エ. 会員名簿の作成

オ. 会員管理プログラムの管理

(2) 事務所の管理

担当 総務部

① 事務所、事務員の管理

(3) 財務管理

担当 財務部

社団法人兵庫県理学療法士会での管理部門(会計)

を担当しています。平成22年度の主な事業内容は以下のとおりです。

① 会費(士会員約2800名、賛助会員14社)、入会金(新入会員のみ)、の徴収および、会員証(クレジット機能付帯)の手続きに関する業務

② 兵庫県理学療法士会、各部、委員会、ブロック

における予算計画

決算処理、事業ごとの決算処理および帳簿作成のための税理士事務所へ提出する伝票等の書類作成

③ 各部、委員会、ブロックへの各部費送金および協会事務局への協会費送金

④ 士会会員管理および協会事務局との異動会員(県外)に対する情報交換

⑤ 社団法人の会計処理対応について顧問税理士と相談

⑥ 兵庫県文書課に提出する関係書類の作成(21年度収支決算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、23年度収支予算書)

⑦ 所得税源泉徴収に関する事務手続き

⑧ 県民税、市民税の申告、納付に関する事務手続き

以上の事業について事務局事務員2名と財務部部員4名にて業務を遂行しました。

(4) 賛助会員の管理

担当 渉外部

ア. 日 時 随時

イ. 募集と管理 14社

A会員6社、B会員3社、C会員5社

ウ. 広告掲載(士会だより、理学療法兵庫、会員名簿、士会ホームページ)

エ. 学会・研修会の参加(機器展示、資料配布)

(5) 役員選挙

担当 選挙管理委員会

ア. 内 容 社団法人兵庫県理学療法士会役員選挙の実施(平成22年6月7日)

1. 理学療法の普及啓発に関する事業

(1) リハビリ介助方法公開講座の開催(中央型1回、地域型3回)

担当 保健福祉部

中央型

ア. 日 時 平成22年12月12日(日)

イ. 場 所 兵庫県立総合リハビリテーションセンター

ウ. 対象者 ホームヘルパー等

エ. 参加者 障害者児・者コース24名

高齢者コース 69 名（自立支援コース 33 名、持ち上げないコース 36 名）

地域型（2 回）

地域型は兵庫県各圏域リハビリテーション支援センターの支援として実施

①阪神北圏域

ア. 日 時 平成 22 年 10 月 16 日（土）

イ. 場 所 宝塚市民病院

ウ. 対象者 ホームヘルパー等

エ. 参加者 高齢者コース 36 名

②阪神北圏域

ア. 日 時 平成 22 年 12 月 4 日（土）

イ. 場 所 市立伊丹病院

ウ. 対象者 ホームヘルパー等

エ. 参加者 高齢者コース 31 名

(2) 介護講習等指導者養成講座

ア. 日 時 平成 22 年 11 月 28 日（日）

イ. 場 所 兵庫県立総合リハビリテーションセンター

ウ. テーマ 「介護講習会の指導者を養成」

エ. 対象者 兵庫県理学療法士会 会員

オ. 参加者 高齢者対象コース 39 名
障害児・者コース 12 名

(3) 理学療法週間事業「理学療法士説明会（中学生対象）」

担当 理学療法啓発部

ア. 日 時 平成 22 年 7 月 18 日

イ. 場 所 神戸大学医学部保健学科
ハーベスト専門学校

ウ. 内 容 理学療法士の仕事についての
講義

エ. 参加スタッフ 啓発部員 3 名

オ. 参加者 神戸大学医学部保健学科 17 名、
ハーベスト専門学校 16 名
合計 33 名

(4) 理学療法週間事業「理学療法一日体験」

担当 理学療法啓発部

ア. 日 時 平成 22 年 7 月 25 日

イ. 場 所 関西労災病院
兵庫県立総合リハビリテーションセンター
姫路赤十字病院

ウ. 内 容 理学療法士の業務についての
講義と実技体験

エ. 参加スタッフ

関西労災病院 16 名
兵庫県立総合リハビリテーションセンター 17 名
姫路赤十字病院 12 名
神戸総合医療専門学校 1 名
啓発部員 6 名

オ. 参加者 128 名

(5) 平成 22 年度ふれあいの祭典-但馬ドーム
担当 理学療法啓発部

ア. 日 時 平成 22 年 10 月 16・17 日

イ. 場 所 三田市有馬富士公園周辺

ウ. 内 容 健康・福祉部門（開眼片脚立位保持テ
スト、Timed up and go test、ロコ
モチェックとロコモ体操指導）

エ. 主 催 但馬まるごと感動市実行委員会

オ. 参加スタッフ 16 日 啓発部員 8 名
学生 3 名（神戸大学）
17 日 啓発部員 9 名
学生 3 名（神戸大学）

カ. 参加者 640 名（16 日 320 名、17 日 320 名）

(6) KOBE OPEN 国際車いすテニストーナメント 2010
担当 スポーツ活動支援部

ア. 日 時 平成 22 年 4 月 22 日～4 月 25 日

イ. 場 所 しあわせの村テニスコート（神戸市）
ブルボンビーンズドーム（三木市）

ウ. 内 容 選手のコンディショニングサービス

エ. 主 催 DUNLOP KOBE OPEN 2010 国際車いすテ
ニストーナメント実行委員会

オ. 参加スタッフ 50 名、延べ人数 61 名

カ. 参加者（選手）106 名
利用者 111 名、延べ 177 件

(7) 第 11 回 西日本シッティングバレーボール選手権大会
担当 スポーツ活動支援部

ア. 日 時 平成 22 年 6 月 12 日～6 月 13 日

イ. 場 所 兵庫県立障害者スポーツ交流館

ウ. 内 容 選手のコンディショニングサービスおよび応急処
置

エ. 主 催 兵庫県社会福祉事業団総合リハビリテーションセ
ンター

オ. 参加スタッフ 11 名、延べ人数 12 名

カ. 参加者（選手）150 名
利用者 14 名 延べ 15 名

(8) 平成 22 年度兵庫県夏季県民大会
担当 スポーツ活動支援部

ア. 日 時 平成 22 年 7 月 17 日

イ. 場 所 三木総合防災公園（三木市）

ウ. 内 容 ケルダウン指導、選手のコンディショニングサー
ビスおよび応急処置

エ. 主 催 兵庫県サッカー協会

オ. 参加スタッフ 9 名

カ. 参加者（選手）280 名
利用者 14 名 延べ 17 名

(9) 平成 22 年度兵庫県少年サッカー都市選抜交流大会
担当 スポーツ活動支援部

ア. 日 時 平成 22 年 7 月 18 日

イ. 場 所 丹波少年自然の家（丹波市）

ウ. 内 容 ケルダウン指導、選手のコンディショニングサー

スおよび応急処置

- エ. 主 催 兵庫県サッカー協会
オ. 参加スタッフ 6名
カ. 参加者（選手）約 250名
父兄・チーム関係者 約 1000名
(10) 平成 22 年度兵庫県冬季県民大会
担当 スポーツ活動支援部
ア. 日 時 平成 23 年 1 月 15 日～1 月 16 日
イ. 場 所 兵庫県立淡路佐野運動公園（淡路市）、王子陸上競技場・いぶきの森（神戸市）
ウ. 内 容 クールダウン指導、選手のコンディショニングサービス
スおよび応急処置
エ. 主 催 兵庫県サッカー協会
オ. 参加スタッフ 14 名、延べ 16 名
カ. 参加者（選手）280 名
利用者 32 名 延べ 46 名
(11) コパ エスペランサ 2011 U-17
担当 スポーツ活動支援部
ア. 日 時 平成 23 年 2 月 11 日～2 月 13 日
イ. 場 所 いぶきの森、滝川第二高校グラウンド、他
カ. 参加者（選手）
全国強豪校 24 チーム 総勢 500 名
チーム関係者 約 60 名
利用者 15 名、延べ 17 件
(12) 第 33 回兵庫県都市対抗選抜少年サッカー大会
担当 スポーツ活動支援部
ア. 日 時 平成 23 年 2 月 12 日～2 月 13 日
イ. 場 所 しあわせの村 芝生広場（神戸市）
ウ. 内 容 クールダウン指導、選手のコンディショニングサービス
スおよび応急処置
エ. 主 催 兵庫県サッカー協会
オ. 参加スタッフ 10 名、延べ 12 名
カ. 参加者（選手）
兵庫県下小学 5 年生以下 総勢 272 名
父兄・チーム関係者 約 1000 名
利用者 3 名
(13) 第 12 回 神戸リハビリテーションセンター大会
担当 スポーツ活動支援部
ア. 日 時 平成 23 年 2 月 19 日～2 月 20 日
イ. 場 所 兵庫県立障害者スポーツ交流館
ウ. 内 容 選手のコンディショニングサービス
スおよび応急処置

処置

- エ. 主 催 兵庫県社会福祉事業団総合リハビリテーションセンター
オ. 参加スタッフ 7 名、延べ人数 8 名
カ. 参加者（選手）160 名
利用者 20 名、延べ 23 名
(14) 看護の日への参画
担当 健康増進部
ア. 日 時 平成 22 年 5 月 9 日（日）
イ. 場 所 豊岡コープデイズ
ウ. 主 催 兵庫県看護協会
エ. 内 容 膝伸展筋力測定、健康相談、運動指導
オ. 参加スタッフ
井垣 誠（公立豊岡病院日高医療センター）
谷口勝茂（公立豊岡病院日高医療センター）
本田寛人（公立豊岡病院日高医療センター）
中村友香（兵庫県但馬長寿の郷）
カ. 参加者 37 名
(15) 看護の日への参画
担当 健康増進部
ア. 日 時 平成 22 年 5 月 9 日（日）
イ. 場 所 兵庫県看護協会
ウ. 主 催 兵庫県看護協会
エ. 内 容 膝伸展筋力測定、健康相談、運動指導
オ. 参加スタッフ
永嶋道浩（市立伊丹病院）
米澤有里（稲美町役場）
カ. 参加者 142 名
(16) 看護フェアへの参画
担当 健康増進部
ア. 日 時 平成 22 年 11 月 14 日（日）
イ. 場 所 兵庫県看護協会
ウ. 主 催 兵庫県看護協会
エ. 内 容 膝伸展筋力測定、健康相談、運動指導
オ. 参加スタッフ
米澤有里（稲美町役場）
本田寛人（公立豊岡病院日高医療センター）
山本静香（甲南病院）
澤下浩二（甲南病院）
カ. 参加者 123 名
(17) 公立学校共済組合兵庫支部主催 生涯生活設計講座での講師
担当 健康増進部
ア. 日 時 各日 1 時間
平成 23 年 1 月 18 日
平成 23 年 1 月 19 日

平成 23 年 1 月 20 日
平成 23 年 1 月 21 日
平成 23 年 1 月 26 日
平成 23 年 1 月 28 日
平成 23 年 1 月 31 日
平成 23 年 2 月 1 日
平成 23 年 2 月 3 日

イ. 場 所 県内 9 か所
ウ. 内 容 「生活習慣病予防のための運動療法」の講演

エ. 講 師
米澤有里 (稲美町役場)
山本静香 (甲南病院)
谷口勝茂 (公立豊岡病院日高医療センター)
井垣 誠 (公立豊岡病院日高医療センター)
本田寛人 (公立豊岡病院日高医療センター)
中村友香 (兵庫県但馬長寿の郷)
中本千瑛 (訪問看護リハビリテーション癒々)

オ. 参加者 兵庫県教職員退職予定者 各回
80~120 名

(18) まちの保健室への参画

担当 健康増進部

ア. 回 数 平成 22 年 9 月~平成 23 年 1 月
までの集計で 54 回

イ. 場 所 県内 17 か所
ウ. 内 容 運動機能評価、健康指導、集団
体操

エ. 協力員 健康増進部員を含めて 46 名

オ. 参加者 のべ 677 名

(19) 第 20 回こうべ福祉・健康フェアの参画

担当 神戸(東)ブロック

ア. 日 時 平成 22 年 10 月 3 日
イ. 場 所 しあわせの村(神戸市)
ウ. 主 催 神戸市、こうべ市民福祉振興協
会、神戸市社会福祉協議会、ふ
れあいのまち KOBE・愛の輪運動
推進委員会、神戸在宅ケア研究
所、神戸市教育委員会

エ. テーマ 高齢者体力測定

オ. 参加スタッフ

木澤清行(神戸百年記念病院)
堤由佳(神戸百年記念病院)
森本ちはる(神戸百年記念病院)
松本慶吾(神戸百年記念病院)
井上敏博(神戸百年記念病院)
入江訓宏(神戸百年記念病院)
藤縄浩史(のだ整形外科クリニック)
伊窪隆之(のだ整形外科クリニック)
阿部渉(神戸海星病院)
伊能良紀(神戸海星病院)

山本章代(宮地病院)
梅村麻那美(宮地病院)
秦野健太(荻原みさき病院)
樋口祥恵(宮地病院)
木下裕理(神戸リハビリテーション病院)

カ. 来場者 一般県民 約 20,000 人

キ. 参加者 300 人

(20) リハビリ介助方法公開講座

ア. 日 時 平成 23 年 2 月 20 日(日)

イ. 場 所 兵庫県立総合リハビリテーションセ
ンター

ウ. 対象者 介護士

エ. 参加者 11 名

オ. 参加者スタッフ 7 名

小山 長(神戸総合医療専門学校)

大門守雄(兵庫県立総合リハビリテーション
センター)

山本夕貴(新須磨リハビリテーション病院)

原田信二郎(神戸協同病院)

中居知恵(名谷病院)

水口早苗(名谷病院)

原田浩史(フェニックス岩岡クリニック)

(21) 市民公開講座

担当 阪神南(尼崎)ブロック

ア. 日 時 平成 22 年 10 月 31 日(日)

イ. 場 所 フェスタ立花南館

ウ. 内 容 視覚障害者と盲導犬

エ. 講 師 片倉早苗(兵庫県視覚障害者福祉協
会理事)

オ. 参加者 18 名

(22) 公開講演会

担当 阪神南(西宮・芦屋)ブロック

ア. 日 時 平成 23 年 1 月 21 日

イ. 場 所 西宮大学交流センター

ウ. 内 容 「地域の中の介護サービスの取り組
み」~地域で暮らす人々が住みよい生
活を支えるために~

エ. シンポジスト

芦尾勇(デイサービスみどりの風)

岩間久美子(コープこうべ居宅支援センター西宮)

三嶋康熙(ポータルリハビリサービス尼崎店長)

桑山浩明(上ヶ原病院)

オ. 参加者 116 名

(23) 公益事業

担当 阪神北ブロック

ア. 日 時 平成 22 年 11 月 20 日(土)

イ. 場 所 協立温泉病院

ウ. テーマ 摂食嚥下の研修会

エ. 講 師 橋谷怜子(協立温泉病院)

オ. 参加者 33名
(24) 公益事業
担当 東播磨ブロック
①講演会
ア. 日 時 平成 22 年 10 月 10 日
イ. 場 所 明石市生涯学習センター
ウ. テーマ 「はじめましょう！転倒予防～
あなたにもできる介護予防～」
エ. 講 師 山本克己（神戸市保健福祉局地
域保健課）
オ. 参加者 18名（内一般市民9名 他職
種9名）

(25) 公益事業
担当 淡路ブロック
①ふれ愛まつり 2010～第3回洲本市健康福祉まつり
&社協のつどい～への参加
ア. 日 時 平成 22 年 10 月 10 日（日）
イ. 場 所 洲本市総合福祉会館
ウ. 内 容 体力測定、対組成測定、骨密度
測定、リハビリ相談
エ. 参加者 全体で約 2000 名、ブロック担
当ブースに 125 名
オ. 参加スタッフ 22 名

②公開講演会
ア. 日 時 平成 22 年 12 月 12 日（日）
イ. 場 所 洲本市総合福祉会館
ウ. テーマ 「いきいきと暮らすために～生
活の中のリハビリ～」
エ. 講 師 眞藤英恵（京阪ライフケアサポート）
オ. 参加者 27 名

(26) 中播磨ブロック公益事業
担当 中播磨ブロック
①平成 22 年度「健康ひょうご 21 県民運動中
播磨会議」 総会および研修会
ア. 日 時 平成 22 年 6 月 30 日（水）
イ. 場 所 姫路市医師会
ウ. 内 容 1) 総会
2) 研修会「ストレスとじょう
ずに向き合うために」
エ. 主 催 (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構
大澤智子(こころのケアセンター)
オ. 参加者 小寺正人(ハーベスト医療福祉専
門学校)

②第 6 回救急医療フォーラム
ア. 日 時 平成 22 年 9 月 11 日(土)
イ. 場 所 姫路市文化センター
ウ. テーマ 「みんなで考えようこれからの
救急医療」
エ. 主 催 姫路市救急医療協会 姫路市医

師会、姫路市
オ. 参加者 2 名
③姫路地区国民医療推進協議会代表者会議
ア. 日 時 平成 22 年 11 月 12 日（金）
イ. 場 所 姫路市医師会館
ウ. 内 容 役員変更について
姫路地区国民医療推進協議会主催講
演会について
第 6 回姫路市民フォーラム開催にむ
けて
その他、年 2 回の開催を検討
エ. 参加者 小寺正人（ハーベスト医療福祉
専門学校）

(27) たつの市公立小学校福祉体験学習への参画
担当 西播磨ブロック
ア. 日 時 平成 22 年 5 月 9 日（月）
イ. 場 所 アメニティーホーム光都学園
ウ. 主 催 たつの市社会福祉協議会
エ. 内 容 車椅子体験指導
オ. 参加者スタッフ
濱田松彦（赤穂市民病院）
カ. 参加者 高校生 2 名

(28) たつの市公立小学校福祉体験学習への参画
担当 西播磨ブロック
ア. 日 時 平成 22 年 6 月 18 日（金）
イ. 場 所 たつの市揖西東小学校
ウ. 主 催 たつの市社会福祉協議会
エ. 内 容 車椅子体験指導
オ. 参加者スタッフ
柳田真梨（赤穂中央病院）
濱田松彦（赤穂市民病院）

カ. 参加者 揖西東小学校 4 年生 47 名
(29) たつの市公立小学校福祉体験学習への参画
担当 西播磨ブロック
ア. 日 時 平成 22 年 9 月 30 日（木）
イ. 場 所 たつの市神岡小学校
ウ. 主 催 たつの市社会福祉協議会
エ. 内 容 車椅子体験指導
オ. 参加者スタッフ
糸谷圭介（兵庫県立西播磨総合リハビ
リテーションセンター）
山下裕美（介護老人保健施設ハイマート）

カ. 参加者 神岡小学校 3 年生 52 名
(30) たつの市公立小学校福祉体験学習への参画
担当 西播磨ブロック
ア. 日 時 平成 22 年 10 月 27 日（水）
イ. 場 所 たつの市立体育館
ウ. 主 催 たつの市社会福祉協議会
エ. 内 容 車椅子体験指導
オ. 参加者スタッフ

川田菜穂美（赤穂中央病院）

濱田松彦（赤穂市民病院）

カ. 参加者 神岡小学校4年生 32名
(31) 赤穂市しあわせフェスティバルへの参画
担当 西播磨ブロック

ア. 日時 平成21年11月14日（日）

イ. 場所 赤穂市総合福祉会館

ウ. 主催 赤穂市社会福祉協議会

エ. 内容 リハビリ体力測定

オ. 参加者スタッフ

柳田真梨（赤穂中央病院）

武内耕太（赤穂中央病院）

志水勇樹（赤穂中央病院）

岸本周子（赤穂中央病院）

田中大地（信原病院）

田中公二（信原病院）

藤城鉄馬（魚橋病院）

東間誠也（介護老人保健施設ハイマート）

武田祐二（赤穂市民病院）

濱田松彦（赤穂市民病院）

カ. 参加者 一般県民 4500名
リハビリコーナー 152名

(32) 相生市健康・福祉まつりへの参画
担当 西播磨ブロック

ア. 日時 平成22年12月5日（日）

イ. 場所 相生市総合福祉会館

ウ. 主催 相生市、相生市健康づくり推進
協議会、相生市社会福祉協議会

エ. 内容 リハビリ体力測定

オ. 参加者スタッフ

上田泰之（信原病院）

田中公二（信原病院）

田中美穂（半田中央病院）

宮本裕希（半田中央病院）

谷本義也（八重垣病院）

上田陽子（介護老人保健施設ジ
ュネスしんぐ）

吉澤悠喜（赤穂中央病院）

朴 浩二（赤穂中央病院）

岡本純弘（IHI 播磨病院）

濱田松彦（赤穂市民病院）

カ. 参加者 一般県民 1440名
リハビリコーナー 105名

(33) たつの市公立小学校福祉体験学習への参画
担当 西播磨ブロック

ア. 日時 平成22年12月15日（水）

イ. 場所 たつの市誉田小学校

ウ. 主催 たつの市社会福祉協議会

エ. 内容 車椅子体験指導

オ. 参加者スタッフ

米澤直樹（IHI 播磨病院）

濱田松彦（赤穂市民病院）

カ. 参加者 誉田小学校4年生 36名
(34) 赤穂市中学校福祉体験学習への参画
担当 西播磨ブロック

ア. 日時 平成23年1月21日（木）

イ. 場所 たつの市揖西小学校

ウ. 主催 たつの市社会福祉協議会

エ. 内容 車椅子体験指導

オ. 参加者スタッフ

杉原勝由（太子町生活福祉部）

カ. 参加者 揖西小学校4年生 56名

(35) たつの市公立小学校福祉体験学習への参画
担当 西播磨ブロック

ア. 日時 平成23年2月4日（金）

イ. 場所 たつの市揖保小学校

ウ. 主催 たつの市社会福祉協議会

エ. 内容 車椅子体験指導

オ. 参加者スタッフ

唐内康行（千種川リハビリテーションセ
ンター）

柳田真梨（赤穂中央病院）

カ. 参加者 揖保小学校5年生 52名

(36) 公益事業

担当 北播磨・丹波ブロック

①多可町社協祭り

ア. 日時 平成22年10月3日（日）

イ. 場所 アスパル（多可町中区）

ウ. 主催 多可町社会福祉協議会

エ. 内容 体力測定

オ. 参加スタッフ

北嶋康広（中町赤十字病院）

木下慶一（土井病院）

宇仁菅敏行（山陽ケアセンター 訪問看護
ステーション）

佐野淳平（ケアハウスかとう）

松本明子（多可赤十字病院）

宇高則子（多可赤十字病院）

壺井忠士（多可赤十字病院）

有賀健人（土井病院）

坂田康裕（土井病院）

前田隼輝（多可赤十字病院）

後藤良太（多可赤十字病院）

笹倉稔弘（多可赤十字病院）

藤井杏海子（多可赤十字病院）

カ. 一般参加者 100名

②平成22年度「健康兵庫22県民運動北播
磨会議」総会

ア. 日時 平成22年6月22日

イ. 場所 加西市

- ウ. 主催 (財)兵庫県健康財団北播磨支部
- エ. 参加者 北嶋康広(中町赤十字病院)
- (37) 高校生 理学療法士一日体験
担当 但馬ブロック
- ア. 日時 平成22年7月23日、8月2・3・4
・17日
- イ. 場所 豊岡病院、八鹿病院、出石医療センター、朝来和田山医療センター
- ウ. 内容 講義 見学 体験 資料配布 質疑応答
- エ. 参加者 対象高校生数 合計 39名
協力スタッフ 8名
- (38) 「但馬まるごと感動市(健康福祉まつり部門)」への参画
担当 但馬ブロック
- ア. 日時 平成22年11月13日
- イ. 場所 兵庫県立但馬ドーム
- ウ. 主催 但馬まるごと感動市実行委員会
- エ. 内容 健康・福祉相談
- オ. 参加スタッフ 2名
- カ. 当ブースへの来場者 10名

2. 理学療法に関する調査・研究及び広報に関する事業

(1) 県士会便りの発行(5回)

- 担当 広報部
- ア. 日時 (2ヶ月毎)
第135号から第139号
- イ. 発行部数 3000部
- ウ. 配布対象 兵庫県理学療法士会会員、賛助会員、日本理学療法士協会、他士会、兵庫県関係所轄課、県下市町村

3. 理学療法士の学術及び技能の向上に関する事業

(1) 理学療法技術に関する公開研修会の開催

- 担当 研修部
- ①第1回研修会
- ア. 日時 平成22年10月31日(日)
- イ. テーマ 「糖尿病療養指導理学療法士の介入～日高医療センターでの取り組み」
- ウ. 講師 谷口勝茂(公立豊岡病院日高医療センター)
- エ. 場所 兵庫医療大学
- オ. 参加者 269名
- ②第2回研修会

- ア. 日時 平成22年10月31日(日)
- イ. テーマ 「足関節・足部の診方と評価～スポーツ現場での応用～」
- ウ. 講師 伊藤浩充(甲南女子大学)
- エ. 会場 兵庫医療大学
- オ. 参加者 274名

(2) 理学療法技術に関する公開講習会の開催

①第1回講習会

- ア. 日時 平成22年12月25日(土)、26日(日)
- イ. テーマ 「胸郭の評価と理学療法」
- ウ. 講師 柿崎藤泰(文京学院大学)
- エ. 場所 兵庫医療大学
- オ. 参加者 30名

②第2回講習会

- ア. 日時 平成23年1月29日(土)、30日(日)
- イ. テーマ 「基本動作のバイオメカニクスと理学療法」
- ウ. 講師 石井慎一郎(神奈川県立保健福祉大学)
- エ. 場所 兵庫医療大学
- オ. 参加者 50名

③新人対象実技講習会①

- ア. 日時 平成22年2月26日(土)、27日(日)
- イ. テーマ 「肩関節の機能解剖と理学療法」
- ウ. 講師 信原病院スタッフ
- エ. 場所 信原病院
- オ. 参加者 38名

④新人対象実技講習会②

- ア. 日時 平成23年2月26日(土)、27日(日)
- イ. テーマ 「中枢神経疾患編」
- ウ. 講師 神戸リハビリテーション病院スタッフ
- エ. 場所 神戸リハビリテーション病院
- オ. 参加者 20名

⑤新人対象実技講習会③

- ア. 日時 平成23年2月19日(土)、20日(日)
- イ. テーマ 「心疾患の理学療法」
- ウ. 講師 上嶋健治(京都大学大学院医学研究科EBMセンター)
久保清景(くぼクリニック)
春藤久人(神戸学院大学)
松尾善美(神戸学院大学)
安達裕一(国立循環器病研究センター)
西村真人(岸和田徳洲会病院)
川崎健作(神鋼加古川病院)

池田真治（関西労災病院）

エ. 場 所 神戸学院大学

オ. 参加者 38名

⑥新人対象実技講習会④

ア. 日 時 平成23年3月5日(土)、6日(日)

イ. テーマ 「呼吸リハビリテーション」

ウ. 講 師 兵庫医科大学病院スタッフ

エ. 場 所 兵庫医科大学

オ. 参加者 27名

(3) 理学療法士講習会基本編(理論)の開催

担当 理学療法講習部

①理学療法士講習会基本編(理論)

ア. 日 時 平成22年6月20日(日)

イ. 場 所 神戸学院大学 有瀬キャンパス

ウ. 主 催 日本理学療法士協会

エ. テーマ 肩関節の解剖と理学療法

オ. 講 師 立花 孝

カ. 参加スタッフ

内山匡将(関西労災病院)

松谷綾子(甲南女子大学)

森 明子(兵庫医療大学)

藤新太郎(神戸総合医療専門学校)

竹内香理(関西労災病院)

栗田真悟(関西労災病院)

キ. 参加者 226名

②理学療法士講習会基本編(理論)

ア. 日 時 平成22年11月28日(日)

イ. 場 所 兵庫医療大学

ウ. 主 催 日本理学療法士協会

エ. テーマ 物理療法の基礎(兵庫会場)

オ. 講 師 専門領域研究部 物理療法研究部会

カ. 参加者 46名

③理学療法士講習会基本編(理論)

ア. 日 時 平成23年2月11日(金)・12日(土)

イ. 場 所 神戸総合医療専門学校

ウ. 主 催 日本理学療法士協会

エ. テーマ クリニカルリーズニング入門編(in神戸)

オ. 講 師 亀尾 徹

カ. 参加者 80名

④理学療法士講習会基本編(理論)

ア. 日 時 平成23年3月6日(日)

イ. 場 所 神戸学院大学

ウ. 主 催 日本理学療法士協会

エ. テーマ 下肢切断の理学療法

オ. 講 師

陳 隆明

小嶋 功

大藪 弘子

高瀬 泉

大久保 吏司

中川 昭夫

小西 克浩

大西 智樹

カ. 参加スタッフ

内山匡将(関西労災病院)

松谷綾子(甲南女子大学)

森 明子(兵庫医療大学)

藤新太郎(神戸総合医療専門学校)

竹内香理(関西労災病院)

栗田真悟(関西労災病院)

キ. 参加者 80名

(4) 健康増進部 第2回研修会

ア. 日 時 平成22年12月4日(土)

イ. 場 所 兵庫県立総合リハビリテーションセンター

ウ. テーマ 「心動けば身が動くーメタボリック・リハビリテーションのための認知心理学」

エ. 講 師 坂本 年将(神戸学院大学)

オ. 参加者 会員46名

(5) 第23回兵庫県理学療法士学会の開催

担当 但馬ブロック

ア. 日 時 平成22年7月11日(日)

イ. 場 所 朝来市文化会館 和田山ジュピターホール

ウ. テーマ ～転ばないための体づくりと環境作り～

エ. 参加者 668名(会員633名、非会員35名)

(6) 第24回兵庫県理学療法士学会の準備

担当 中播磨ブロック

(7) 保健福祉部 公開研修会(高齢者福祉班担当1回、障害福祉班担当1回)

担当 保健福祉部

①障害福祉班担当

ア. 日 時 平成22年10月24日(日)

イ. 場 所 ニチイ学館ポートアイランドセンター

ウ. テーマ 「感じていますか子どもたちからのメッセージ～ライフサイクルを見据えて、ともに生きる支援のヒント～」

エ. 講 師 花井丈夫(横浜療育医療センター)

オ. 対 象 PT、OT、ST、養護学校(特別支援学校)教諭、介護職員他

カ. 参加者 186 名
②高齢者福祉班担当
ア. 日 時 平成 23 年 2 月 13 日 (日)
イ. 場 所 加古川総合福祉会館
ウ. テーマ 「人を大切にするケア」
エ. 講 師 下元佳子 (生き生きサポート
センターうえるば高知)
オ. 対 象 士会員、O T、医師、保健師、
ケアマネージャー、ホームヘル
パー、地域包括支援センター職
員、その他興味のある方

カ. 参加者 234 名
(8) 保健福祉部研修会
担当 保健福祉部

ア. 日 時 平成 22 年 9 月 26 日 (日)
イ. 場 所 神戸市灘区民ホール
ウ. テーマ 「暮らしにつなげる理学療
法」
エ. 講 師 近藤直樹 (公立八鹿病院)
邊見智昭 (公立八鹿病院)
正木健一 (株式会社ひまわり)
オ. 対 象 兵庫県士会員

カ. 参加者 294 名
(9) 勉強会: 車いすテニスおよびサッカー関連
担当 スポーツ活動支援部

①第 1 回

ア. 日 時 平成 22 年 5 月 20 日
イ. 場 所 神戸総合医療専門学校
ウ. 内 容 「スポーツ現場の実際 (現場活動報告
および心構え)」
エ. 講 師 鶴谷舞 (PTT)、前川慎太郎 (近畿
中央病院)、高橋洋介 (ハーベスト医療
福祉専門学校)、高路陽人 (石川病
院)

オ. 参加者 32 名

②第 2 回

ア. 日 時 平成 22 年 6 月 6 日
イ. 場 所 神戸総合医療専門学校
ウ. 内 容 「ACL 術後から競技復帰までのレ
ーニングについて」
エ. 講 師 小柳磨毅 (大阪電気通信大学)
オ. 参加者 48 名

③第 3 回

ア. 日 時 平成 22 年 7 月 15 日
イ. 場 所 神戸総合医療専門学校
ウ. 内 容 「骨格筋の解剖学的事実に基づいた
臨床応用 (下肢)」
エ. 講 師 荒川高光 (神戸大学大学院保健学研
究科)

オ. 参加者 47 名

④第 4 回

ア. 日 時 平成 22 年 8 月 5 日
イ. 場 所 神戸総合医療専門学校
ウ. 内 容 「骨格筋の解剖学的事実に基づいた
臨床応用 (下肢) 実技」
エ. 講 師 荒川高光 (神戸大学大学院保健学
研究科)

オ. 参加者 39 名

⑤第 5 回

ア. 日 時 平成 22 年 9 月 1 日
イ. 場 所 神戸総合医療専門学校
ウ. 内 容 「スポーツ現場において理学療法士にも
知っておいてもらいたい基礎知識」
エ. 講 師 田辺 誠 (松本病院院長)

オ. 参加者 49 名

⑥第 6 回

ア. 日 時 平成 22 年 11 月 14 日
イ. 場 所 神戸総合医療専門学校
ウ. 内 容 「救急法 (怪我・骨折の手当のしか
た)」
エ. 講 師 沖野恵司

オ. 参加者 22 名

⑦第 7 回

ア. 日 時 平成 22 年 12 月 16 日
イ. 場 所 神戸総合医療専門学校
ウ. 内 容 「膝・足関節とその周辺組織の解剖
学的事実に基づいた臨床応用」
エ. 講 師 荒川高光 (神戸大学大学院保健学研
究科)

オ. 参加者 43 名

⑧第 8 回

ア. 日 時 平成 22 年 12 月 20 日
イ. 場 所 神戸総合医療専門学校
ウ. 内 容 「日米野球のメディアレポートの違い」
エ. 講 師 谷 一郎 (ロサンゼルス・ドジャーストレナ
ー)

オ. 参加者 14 名

⑨第 9 回

ア. 日 時 平成 23 年 1 月 13 日
イ. 場 所 神戸総合医療専門学校
ウ. 内 容 「膝・足関節とその周辺組織の解剖
学的事実に基づいた臨床応用 (実技
編)」
エ. 講 師 荒川高光 (神戸大学大学院保健学研
究科)

オ. 参加者 45 名

⑩第 10 回

ア. 日 時 平成 23 年 1 月 19 日
イ. 場 所 神戸総合医療専門学校

ウ. 内 容 「スポーツ障害の病態理解と評価・治療～徒手療法・物理療法の使い分けとその判断①～」

エ. 講 師 川口浩太郎(兵庫医療大学)

オ. 参加者 28名

⑪第11回

ア. 日 時 平成23年2月10日

イ. 場 所 神戸総合医療専門学校

ウ. 内 容 「肩関節とその周辺組織の解剖学的事実に基づいた臨床応用～体幹との連動性を考えて～」

エ. 講 師 荒川高光(神戸大学大学院保健学研究科)

オ. 参加者 44名

⑫第12回

ア. 日 時 平成23年2月16日

イ. 場 所 神戸総合医療専門学校

ウ. 内 容 「スポーツ障害の病態理解と評価・治療～徒手療法・物理療法の使い分けとその判断②～」

エ. 講 師 川口浩太郎(兵庫医療大学)

オ. 参加者 28名

⑬第13回

ア. 日 時 平成23年3月10日

イ. 場 所 神戸総合医療専門学校

ウ. 内 容 「体幹の解剖学的事実に基づいた臨床応用」

エ. 講 師 荒川高光(神戸大学大学院保健学研究科)

オ. 参加者 44名

⑭第14回

ア. 日 時 平成23年3月16日

イ. 場 所 神戸総合医療専門学校

ウ. 内 容 「スポーツ障害の病態理解と評価・治療～徒手療法・物理療法の使い分けとその判断③～」

エ. 講 師 川口浩太郎(兵庫医療大学)

オ. 参加者 36名

(10) ブロックにおける研修会の開催

神戸(東)ブロック

①研修会

ア. 日 時 平成22年9月26日

イ. 場 所 兵庫医療大学

ウ. テーマ 理学療法士による吸引実技、高齢者における呼吸・循環のリスク管理

エ. 講 師 高橋哲也(兵庫医療大学)

オ. 出席者 60名

神戸(西)ブロック

①研修会

ア. 日 時 平成22年12月10日(金)

イ. 場 所 神戸総合医療専門学校

ウ. テーマ 理学療法におけるリスク管理について

エ. 講 師 高橋哲也(兵庫医療大学)

オ. 参加者 27名

②新人発表説明会

ア. 日 時 平成22年9月16日(木)

イ. 場 所 神戸総合医療専門学校

ウ. テーマ 新人発表のスライド作成について

エ. 講 師 小山 長(神戸総合医療専門学校)

オ. 参加者 32名

阪神南(尼崎)ブロック

①ブロック勉強会(新人研修会)

ア. 日 時 平成22年7月14日

イ. 場 所 おおくまりハビリテーション病院

ウ. 内 容 新人発表の要項

エ. 講 師 表 健治

オ. 参加者 23名

②ブロック強化週間Ⅱ

ア. 日 時 平成22年9月17日(金)

イ. 場 所 関西労災病院

ウ. 内 容 「器具療法におけるバイオメカニクス」～器具装着時における歩行動作の考察～

エ. 講 師 白銀 暁(リハビリテーション科学総合研究所研究員)

オ. 参加者 88名

阪神南(西宮・芦屋)ブロック

①勉強会Ⅰ

ア. 日 時 平成22年10月29日

イ. 場 所 西宮協立脳神経外科病院

ウ. テーマ 入院から在宅まで～症例を通して各施設・個人の見方・考え方～

エ. 発表者

中尾有希(西宮協立リハビリテーション病院)

坂本麻衣(ハートケア西宮渡辺)

森崎茉衣(協和マリナホスピタル)

木下友子(松本脳神経外科クリニック)

西村瞬(西宮協立脳神経外科病院)

桑山浩明(上ヶ原病院)

廣田将哉(上ヶ原病院)

オ. 参加者 58名(西宮・芦屋ブロック52名, 県内他ブロック4名, その他2名)

②勉強会Ⅱ

ア. 日 時 平成23年2月4日

- イ. 場 所 デイケアセンターほほえみ
ウ. 内 容 入院から在宅まで ～自ら考える
各施設・個人の見方・考え方～
エ. 症例検討 森崎茉衣 (協和マリナホスピタル)
オ. 参加者 31名 (西宮・芦屋ブロック 30
名、他ブロック 1名)

③講演会

- ア. 日 時 平成 23 年 1 月 16 日
イ. 場 所 兵庫医科大学
ウ. テーマ 装具療法のトピックス～運動療法との併用
エ. 講 師 大西忠輔 (神戸医療福祉専門学校)
オ. 参加者 94 名

阪神北ブロック

①新人研修会

- ア. 日 時 平成 22 年 7 月 15 日 (木)
イ. 場 所 宝塚リハビリテーション病院
ウ. 内 容 新人発表に向けてのレジメのまとめ方、スライドの作り方指導
エ. 講 師 森川 宏 (市立伊丹病院)
オ. 参加者 30 名

②研修会

- ア. 日 時 平成 22 年 10 月 28 日 (木)
イ. 場 所 宝塚リハビリテーション病院
ウ. テーマ 脳卒中の読影法
エ. 講 師 松本伸治 (三田市民病院)
オ. 参加者 95 名

③講演会

- ア. 日 時 平成 23 年 2 月 13 日 (日)
イ. 場 所 神戸医療福祉専門学校三田校
ウ. テーマ 脳卒中の治療
エ. 講 師 田口潤智 (宝塚リハビリテーション病院)
オ. 参加者 123 名

東播磨ブロック

①第 1 回研修会

- ア. 日 時 平成 22 年 5 月 20 日
イ. 場 所 幸生リハビリテーション病院地域リハビリテーションセンター
ウ. テーマ 「糖尿病の基礎」
エ. 講 師 平田人士 (加古川医療センター)
オ. 参加者 45 名

②第 2 回研修会

- ア. 日 時 平成 22 年 7 月 30 日
イ. 場 所 幸生リハビリテーション病院
ウ. テーマ 「関節可動域運動について」
エ. 講 師 前田徹 (幸生リハビリテーション病院)

- オ. 参加者 73 名

③第 3 回研修会

- ア. 日 時 平成 22 年 9 月 24 日
イ. 場 所 幸生リハビリテーション
ウ. テーマ 「治療から暮らしにつなげるリハビリテーション」
エ. 講 師 西田陽介 (西江井島病院)
オ. 参加者 16 名

④第 4 回研修会

- ア. 日 時 平成 22 年 11 月 26 日
イ. 場 所 幸生リハビリテーション病院
ウ. テーマ 「Wii Fit を利用した理学療法評価と症例報告 (2 例)」
エ. 講 師 内海新 (明石はくほう会病院)
オ. 参加者 29 名

⑤講演会

- ア. 日 時 平成 23 年 1 月 21 日
イ. 場 所 幸生リハビリテーション病院地域リハビリテーションセンター
ウ. テーマ 「呼吸理学療法の基礎と臨床」
エ. 講 師 眞淵敏 (兵庫医科大学)
オ. 参加者 46 名

⑥新人発表説明会

- ア. 日 時 平成 22 年 7 月 30 日
イ. 場 所 幸生リハビリテーション病院
ウ. 内 容 「発表の詳細と抄録およびスライド作成のポイント」
エ. 講 師 西田陽介 (西江井島病院)
オ. 参加者 62 名

淡路ブロック

①第 1 回勉強会

- ア. 日 時 平成 22 年 5 月 26 日 (水)
イ. 場 所 洲本市健康福祉館
ウ. 内 容 症例検討：頸髄損傷患者の一症例～急性期から慢性期を通して～
エ. 講 師 林 一雅 (県立淡路病院)、
畑山浩志 (洲本市役所)

- オ. 参加者 40 名

②第 2 回勉強会

- ア. 日 時 平成 22 年 7 月 27 日 (火)
イ. 場 所 洲本市健康福祉館
ウ. テーマ 障害者のスポーツについて
エ. 講 師 清水真澄 (あべいすと訪問看護リハビリテーションセンター)
オ. 参加者 18 名

③第 3 回勉強会

- ア. 日 時 平成 22 年 8 月 25 日 (水)
イ. 場 所 洲本市健康福祉館
ウ. 内 容 症例検討：呼吸器疾患患者の在宅復帰に向けて

エ. 講師 國廣澄仁（東浦平成病院）
岩井愛恵（東浦平成病院）

オ. 参加者 53名

④研修会

ア. 日時 平成23年2月27日（日）

イ. 場所 関西総合リハビリテーション専門学校

ウ. テーマ 「片麻痺の歩行について」

エ. 講師 市橋則明（京都大学大学院医学研究科）

オ. 参加者 34名

⑤新人発表説明会

ア. 日時 平成22年8月25日（水）

イ. 場所 洲本市健康福祉館

ウ. 内容 「発表の詳細と抄録およびスライド作成のポイント」

エ. 講師 棟近成氏（曾山医院）

オ. 参加者 58名

中播磨ブロック

①第1回研修会

ア. 日時 平成22年5月22日（土）

イ. 場所 石川病院

ウ. 内容

【第1部】ブロック内講師による研修会
「理学療法におけるリスクマネジメント」

【第2部】新人オリエンテーション・ブロック役員紹介

エ. 講師 山野 薫（姫路獨協大学）

オ. 参加者 59名（新人46名、転入0名、
会員11名、学生2名）

②第2回研修会（西播磨ブロックと共同開催）

ア. 日時 平成22年9月11日（日）

イ. 場所 石川病院

ウ. テーマ 「がんリハビリテーション」

エ. 講師 池田聖児（大阪府立成人病センター）

オ. 参加者 84名（中播磨会員41名、西播磨会員22名、他ブロック会員22名、他職種1名、学生9名）

③新人発表事前説明会

ア. 日時 平成22年9月11日（木）

イ. 会場 姫路聖マリア病院

ウ. 内容

- ・抄録作製の方法・留意点と提出先および期限について
- ・発表形式、当日までの流れ
- ・進行状況の確認とPC環境の確認
- ・新人に対する担当運営委員の設定および連絡方法について
- ・協会入会確認

・個別相談

エ. 参加者：56名／新人49名、平成21年
未発表者7名

西播磨ブロック

①新人発表会説明会

ア. 日時 平成22年9月2日（木）

イ. 場所 信原病院

ウ. 参加者 新人発表対象会員23名

②研修会（中播磨・西播磨合同開催）

ア. 日時 平成22年9月11日（土）

イ. 場所 石川病院

ウ. テーマ 癌患者に対する理学療法

エ. 講師 池田聖児（大阪府立成人病センター）

オ. 参加者 西播磨ブロック会員22名

③ブロック学習交流会

ア. 日時 平成23年1月30日（日）

イ. 場所 県立西播磨総合リハビリテーションセンター

ウ. テーマ 自分にも使える頭を良くする方法と臨床実習指導への応用

エ. 講師 富田義之（三輪整形外科）

オ. 参加者 西播磨ブロック会員60名
他ブロック会員1名
学生2名

北播磨・丹波ブロック

①症例検討会

ア. 日時 平成22年7月29日（木）

イ. 場所 土井病院

ウ. テーマ 吸引期の取り扱いについて

エ. 講師 柳 猛彦（新鋭工業株式会社）

オ. 参加者 105名

②症例検討会

ア. 日時 平成22年9月28日（木）

イ. 場所 西脇市立西脇病院

ウ. テーマ 地域連携への取り組み

エ. 講師 水口龍次（三木市民病院）
井平千暁（加東市民病院）

オ. 参加者 57名

③症例検討会

ア. 日時 平成22年11月11日（木）

イ. 場所 西脇市立西脇病院

ウ. テーマ 地域連携について考える

エ. 講師 辻 真人（たなかホームケアクリニック）
畠 康博（加西市民病院）
木下慶一（土井病院）

オ. 参加者 70名

④講演会

ア. 日時 平成22年12月4日（土）

イ. 場所 多可赤十字病院

ウ. テーマ 呼吸器理学療法
エ. 講師 間瀬教史 (甲南女子大学)
オ. 参加者 70名
⑤新人発表説明会
ア. 日時 平成22年9月28日 (木)
イ. 場所 西脇市立西脇病院
ウ. 参加者 30名
但馬ブロック
①第1回但馬ブロック研修会
ア. 日時 平成22年10月1日
イ. 場所 兵庫県立但馬長寿の郷
ウ. 内容 研究・症例報告
エ. 発表者 3名
西村育恵 (谷尾クリニック)
正垣利洋 (公立八鹿病院)
川見大作 (公立朝来和田山医療センター)
オ. 参加者 会員34名
②但馬ブロック講演会
ア. 日時 平成23年1月22日
イ. 場所 兵庫県立但馬長寿の郷
ウ. テーマ 「人工呼吸器のモード」「吸引について」
エ. 講師 片田博司 (公立豊岡病院)
オ. 参加者 76名 (会員72名、他職種4名)
(11) 新人発表会の開催
担当 各ブロック
担当 卒後教育部
神戸 (東) ブロック
ア. 日時 平成23年2月6日 (日)
イ. 場所 甲南女子大学
ウ. 参加者 200名 (内新人発表対象者38名)
神戸 (西) ブロック
ア. 日時 平成23年1月23日 (日)
イ. 場所 神戸総合医療専門学校
ウ. 参加者 103名 (うち発表者34名)
阪神南 (尼崎) ブロック
ア. 日時 平成23年1月30日 (日)
イ. 場所 関西労災病院
ウ. 参加人数 118名 (内新人25名)
阪神南 (西宮・芦屋) ブロック
ア. 日時 平成23年1月16日
イ. 場所 兵庫医科大学
ウ. 発表者 31名
エ. 参加者 94名
阪神北ブロック
ア. 日時 平成23年2月13日 (日)
イ. 場所 神戸医療福祉専門学校三田校
ウ. 参加者 123名
東播磨ブロック

ア. 日時 平成22年2月6日 (日)
イ. 場所 幸生リハビリテーション病院地域リハビリテーションセンター
ウ. 発表者 46名
エ. 参加者 73名
淡路ブロック
ア. 日時 平成23年1月30日 (日)
イ. 場所 関西総合リハビリテーション専門学校
ウ. 発表者 21名
エ. 参加者 680名 (発表者除く)
中播磨ブロック
ア. 日時 平成22年2月6日 (日)
イ. 場所 姫路市勤労市民会館
ウ. 発表者 121名 (うち発表者43名)
西播磨ブロック
ア. 日時 平成23年1月30日 (日)
イ. 場所 県立西播磨総合リハビリテーションセンター
ウ. 参加者 西播磨ブロック会員76名
他ブロック会員1名
学生2名
北播磨・丹波ブロック
ア. 日時 平成23年1月23日 (日)
イ. 場所 多可赤十字病院
ウ. 発表者 20名
エ. 参加者 88名
但馬ブロック
ア. 日時 平成23年1月22日 (土)
イ. 場所 兵庫県立但馬長寿の郷
ウ. 参加者 会員39名 (うち発表者3名)
4. 理学療法士の人格及び倫理の高揚に関する事業
(1) 臨床実習を考える会の開催
担当 卒前教育部
ア. 日時 平成22年9月26日 (日)
イ. 場所 神戸総合医療専門学校
ウ. テーマ 「意欲を高める指導、下げる指導」
エ. 講師 富田義之 (神戸医療福祉専門学校三田校)
オ. 参加者 83名
(2) 臨床実習指導講習会の開催
担当 卒前教育部
ア. 日時 平成22年12月12日 (日)
イ. 場所 姫路獨協大学
ウ. テーマ ほめる技術
エ. 講師 富田義之 (神戸医療福祉専門学校三田校)
オ. 参加者 94名

(3) 臨床実習指導の事例検討会の開催
担当 卒前教育部
ア. 日 時 平成 23 年 2 月 13 日 (日)
イ. 場 所 神戸総合医療専門学校三田校
ウ. テーマ 臨床実習における問題解決能力
エ. 講 師 井上由里 (関西総合リハビリテ-ション専門学校)
オ. 参加者 27 名

(4) 新人教育プログラムの開催
担当 卒後教育部
①新人教育セミナー I
ア. 日 時 平成 22 年 6 月 20 日 (日)
イ. テーマ・講師
「兵庫県理学療法士会の活動について」
梶平 司 (関西労災病院)
「理学療法部門の管理と運営」
沖山 努 (神戸リハビリテーション病院)
「新人教育プログラムについて」
(卒後教育部)

ウ. 場 所 兵庫医療大学
エ. 参加者 373 名
②新人教育セミナー II
ア. 日 時 平成 22 年 9 月 12 日 (日)
イ. テーマ・講師
「脳血管障害患者の体力向上のためのリハビリテ-ション〜回復期・維持期のためのフィジカルフィットネス〜」
村上雅仁 (神戸国際大学)
「気管内吸引の基礎と実際」
深田美香 (播磨看護専門学校)
「医療場面における関係性構築のためのコミュニケーション」
長田 貴 (甲子園大学)

ウ. 場 所 神戸総合医療専門学校
エ. 参加者 395 名
③新人教育セミナー III
ア. 日 時 平成 22 年 12 月 5 日 (日)
イ. テーマ・講師
「腰痛の評価と治療〜明日から使える知識〜」
富田義之 (三輪整形外科)
「社会保障制度の知識を深めよう」
田中真弓 (兵庫県立総合リハビリテ-ションセンター)
「がんのリハビリテーション」
荻野匡俊 (兵庫県立がんセンター)

ウ. 場 所 神戸学院大学
エ. 参加者 290 名
(5) 会誌「理学療法兵庫第 15 号」発行
担当 会誌編集委員会
ア. 日 時 年 1 回
イ. 発行部数 3 2 0 0 部

ウ. 配布対象 兵庫県下市町・兵庫県関係所轄課・賛助会員・国会図書館・兵庫県理学療法士会員・日本理学療法士協会・他都道府県理学療法士会

5. 理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に関する事業

(1) 保険の管理
担当 渉外部
ア. 日 時 随時
イ. 内 容 傷害保険の加入と管理

(2) 求人情報
担当 渉外部
ア. 日 時 随時
イ. 求人募集と管理
ウ. 求人広告掲載(完全無料化)

(3) 平成 22 年度日本理学療法士連盟総会への参加

ア. 日 時 平成 23 年 2 月 26 日
イ. 場 所 東京衛生学園専門学校
ウ. 内 容 通常総会
エ. 参加者 山本泰司 (市立伊丹病院)

(4) 平成 22 年度日本理学療法士連盟研修会への参加

ア. 日 時 平成 23 年 2 月 27 日
イ. 場 所 大森東急イン
ウ. テーマ 「組織代表者の講演会の活動について」

エ. 講 師 小北美知夫 (民主党企業・団体委員会部長代理)
オ. 参加者 山本泰司 (市立伊丹病院)

(5) 職能部研修会
ア. 日 時 平成 23 年 3 月 27 日 (日)
イ. 場 所 兵庫県立総合リハビリテ-ションセンター
ウ. テーマ 「理学療法士と自由診療」

エ. 講 師 辻村孝之 (Physio Life 肩こり腰痛治療ラボパーソナルトレーニングスタジオ)

オ. 参加者 43 名
(6) 会員交流に関する事業

①阪神南 (西宮・芦屋) ブロック懇親会
担当 阪神南 (西宮・芦屋) ブロック
ア. 阪神南 (西宮・芦屋) ブロック新人歓迎会
日 時 平成 22 年 7 月 23 日
場 所 ふじや西宮北口店
参加者 65 名 (うち新人会員 25 名)
イ. 阪神南 (西宮・芦屋) ブロック新年会

日 時 平成 23 年 1 月 16 日
場 所 元気部屋
参加者 62 名（うち発表者 28 名）

②東播磨ブロック新人歓迎会

担当 東播磨ブロック

ア. 日 時 平成 22 年 8 月 28 日
イ. 場 所 膳屋（明石駅前）
ウ. 参加者 新人 20 名 新人外 15 名

③淡路ブロック新人歓迎会

担当 淡路ブロック

ア. 日 時 平成 22 年 7 月 17 日（土）
イ. 場 所 咲咲（洲本市内）
ウ. 参加者 新人 23 名 その他 16 名

④中播磨ブロックブロック運営会議

担当 中播磨ブロック

ア. ブロック会員名簿・連絡網の作成
日 時 年 1 回発行
対 象 ブロック内会員
イ. ブロック内機関誌「播磨OH!」の発行
日 時 年 3 号（第 30 号～第 32 号）
対 象 ブロック内会員
ウ. 中播磨・西播磨合同交流会 ボーリング大会・懇親会
日 時 平成 22 年 11 月 6 日（土）
場 所 マスターズ姫路スターレーン
対 象 中播磨・西播磨ブロック内会員
エ. ブロック親睦ゴルフコンペ
日 時 平成 22 年 11 月 28 日（日）
場 所 船坂ゴルフクラブ
対 象 北播・中播磨・西播磨ブロック内会員

⑤ブロック対抗スポーツ大会（西播磨・中播磨合同開催）

ア. 日 時 平成 22 年 11 月 6 日（土）
イ. 場 所 マスターズ姫路スターレーン
ウ. 内 容 ボーリング大会
エ. 参加者 12 名（中播磨会員 5 名、西播磨会員 7 名）

⑥ブロック対抗スポーツ大会（西播磨・中播磨・北播磨合同開催）

ア. 日 時 平成 22 年 11 月 28 日（日）
イ. 場 所 船坂ゴルフクラブ
ウ. 内 容 ゴルフコンペ
エ. 参加者 14 名

⑦西播磨ブロックブロック運営会議

担当 西播磨ブロック

ア. ミニコミ誌「西結記」の発行
年 4 回（第 37 号～40 号）発行
イ. ブロック会員名簿の発行
ウ. ブロック内社会貢献事業協力スタッフリ

スト作成

⑧北播磨・丹波、西播ブロック合同ゴルフコンペ

担当 北播磨・丹波ブロック

ア. 日 時 平成 22 年 11 月 28 日（日）
イ. 場 所 播磨自然高原船坂ゴルフ倶楽部
ウ. 参加者 14 名

6. その他、前条の目的を達成するために必要な事業

（1）他団体との連絡調整

担当 渉外部

ア. 日 時 随時
（2）会員管理プログラム・新人教育プログラムの管理

担当 システム管理部

ア. 内 容 新人教育プログラム・会員管理プログラムの管理、および、会員管理プログラムの変更。

（3）財務部管理プログラムの変更と運用開始

担当 システム管理部

（4）日本理学療法士協会包括的会員管理システムとの適合の検討

担当 システム管理部

各種会議への参加

(1) 平成22年度第1回近畿ブロック士会長会議

- ア. 日 時 平成22年6月5日(土)
イ. 場 所 新大阪丸ビル
ウ. 出席者 梶平 司
エ. 内 容
第49回近畿理学療法学会事業終了報告及び監査報告
第50回近畿理学療法学会について
第51回近畿理学療法学会について
連盟について
新公益法人格取得について
協会主催の臨床実習指導者研修会(近畿ブロック持ち回り担当)について

(2) 平成22年度第1回兵庫県リハビリテーション協議会理事会

- ア. 日 時 平成21年6月9日(水)
イ. 場 所 兵庫県民会館
ウ. 出席者 梶平 司
エ. 内 容
平成21年度事業報告及び決算報告について
第11回兵庫県総合リハケア研究大会の報告について
第12回兵庫県総合リハケア研究大会について
第13回兵庫県総合リハケア研究大会について
第14回兵庫県総合リハケア研究大会について

(3) 兵庫県文書課の社団法人監査

- ア. 日 時 平成22年7月15日(木)
イ. 場 所 兵庫県理学療法士会事務所
ウ. 出席者 梶平 司
エ. 内 容
業務監査
社団法人改正に向けて

(4) 平成22年度全国都道府県理学療法士会会長会議

- ア. 日 時 平成22年9月30日(木)
イ. 場 所 ひめぎんホール
ウ. 出席者 梶平 司
エ. 内 容
平成22年度事業中間報告
協議事項

(5) 平成22年度第2回近畿ブロック士会長会議

- ア. 日 時 平成22年11月21日(日)
イ. 場 所 和歌山県民文化会館
ウ. 出席者 梶平 司

エ. 内 容

第50回近畿理学療法学会実施状況について

第51回近畿理学療法学会の進捗状況について

(6) 臨時近畿ブロック士会長会議

- ア. 日 時 平成23年1月15日(土)
イ. 場 所 新大阪丸ビル新館
ウ. 出席者 梶平 司
エ. 内 容
協会役員理事・監事推薦について

(7) 平成22年度第2回兵庫県リハビリテーション協議会理事会

- ア. 日 時 平成23年2月27日(日)
イ. 場 所 ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター
ウ. 出席者 梶平 司
エ. 内 容

平成22年度事業実施状況について

平成23年度事業計画及び収支予算案について

第13回兵庫県総合リハケア研究大会について

第14回兵庫県総合リハケア研究大会について

(8) 平成22年度第1回近畿ブロック学術局会議

- ア. 日 時 平成22年6月5日
イ. 場 所 新大阪丸ビル
ウ. 内 容

第49回近畿理学療法学会事業終了報告

第50回近畿理学療法学会について

第51回近畿理学療法学会について

協会主催の臨床実習指導者研修会について(近畿ブロック持ち回り担当)

エ. 出席者 鮫島一雄

(9) 平成22年度第2回近畿ブロック学術局会議

- ア. 日 時 平成22年8月7日
イ. 場 所 新大阪丸ビル
ウ. 内 容

第50回近畿理学療法学会について

第51回近畿理学療法学会について

エ. 出席者 鮫島一雄

(10) 平成22年度第3回近畿ブロック学術局会議

- ア. 日 時 平成22年11月21日
イ. 場 所 和歌山県民文化会館
ウ. 内 容

第50回近畿理学療法学会について

第51回近畿理学療法学会について

エ. 出席者 鮫島一雄

(11) 兵庫県訪問看護ステーション連絡協議
会総会

ア. 日 時 平成 22 年 4 月 24 日

イ. 場 所 兵庫県看護協会

ウ. 出席者 山本克己

(12) 兵庫県訪問看護ステーション連絡協議
会役員会

ア. 日 時 平成 22 年 6 月 10 日

イ. 場 所 兵庫県看護協会

ウ. 出席者 山本克己

(13) 兵庫県訪問看護ステーション連絡協議
会役員会

ア. 日 時 平成 23 年 3 月 17 日

イ. 場 所 兵庫県看護協会

ウ. 出席者 山本克己

(14) 西播磨圏域地域リハビリテーション連絡協
議会

担当 西播磨ブロック

ア. 日 時 平成 22 年 11 月 18 日 (木)

イ. 場 所 兵庫県たつの庁舎

ウ. 主 催 西播磨圏域地域リハビリテー
ション支援センター

エ. 内容 西播磨圏域地域リハビリテー
ション支援センターの役割説明、活動報告、
関係諸団体との関わりと協力依頼、情報交
換

オ. 出席者 濱田 松彦 (赤穂市民病院)

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却について
定額法による減価償却を実施している
- (2) 資金の範囲について
資金の範囲は現金・預金、未収入金・未払金を含めている。
なお当期末残高は下記2に記載するとおりである

2 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである

単位：円

科目	当期末残高
現金預金	11,913,594
未収入金（当期増加分）	1,677,000
合計	13,590,594
預かり源泉所得税（当期増加分）	28,740
未払金（当期増加分）	1,205,500
合計	1,234,240
次期繰越収支差額	12,356,354

3 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は次のとおりである

単位：円

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
液晶ビューカム一式	145,750	144,290	1,460
印刷機、コピー機一式	592,642	586,713	5,929
パソコン一式	260,000	257,396	2,604
両袖机、椅子一式	108,000	72,356	35,644
会議机、椅子一式	117,000	78,383	38,617
パソコン一式（ホームページ委員会）	224,574	220,080	4,494
パソコン一式（財務部）	282,450	282,450	0
液晶プロジェクター	567,000	516,796	50,204
パソコン一式（総務部）	197,900	190,181	7,719
パソコン一式（卒後教育）	139,984	87,490	52,494
合計	2,635,300	2,348,645	199,165

単位：円

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
システム開発			
システム開発	6,463,440	3,659,120	2,804,320
システム開発（償却済資産）			64,600
合計	6,463,440	3,659,120	2,868,920

貸借対照表

平成23年3月31日現在

単位：円

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	20,999,594		
未収入金	8,894,000		
仮払金	1,500,000		
流動資産合計		31,393,594	
2 固定資産			
有形固定資産			
什器備品	199,165		
システム開発費	3,311,390		
有形固定資産合計	3,510,555		
無形固定資産			
保証金	400,000		
電話加入権	89,880		
無形固定資産合計	489,880		
固定資産合計		4,000,435	
資産合計			35,394,029
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	4,843,000		
仮受金	14,500		
預り源泉所得税	130,598		
預り金	23,000		
流動負債合計		5,011,098	
負債合計			5,011,098
III 正味財産の部			
正味財産			30,382,931
うち当期正味財産増加額			2,915,938
正味財産合計			30,382,931

正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

単位：円

科目	金額	
I 一般正味財産増減の部		
1 経常増減の部		
(1) 経常収益		
会費収入	30,793,000	
事業収入	3,384,500	
補助金収入	200,000	
雑収入	30,709	
経常収益計		34,408,209
(2) 経常費用		
事業費	19,687,166	
管理費	10,370,770	
減価償却費	1,427,978	
経常費用計		31,485,914
当期経常増減額		2,922,295
2 経常外増減の部		
(1) 経常外費用		
固定資産除却費	6,357	
当期経常外増減額		6,357
当期一般正味財産増減額		2,915,938
一般正味財産期首残高		27,466,993
一般正味財産期末残高		30,382,931
正味財産期末残高		30,382,931

財 産 目 録

平成23年3月31日現在

単位：円

科目	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
銀行預金但馬銀行	8,471,289	
郵便貯金普通預金	1,274,684	
振替預金	2,167,621	
定額預金	6,086,000	
但馬銀行定期預金	3,000,000	
仮払金	1,500,000	
未収入金	8,894,000	
流動資産合計		31,393,594
2 固定資産		
有形固定資産		
什器備品	199,165	
システム開発費	3,311,390	
有形固定資産合計	3,510,555	
無形固定資産		
保証金	400,000	
電話加入権	89,880	
無形固定資産合計	489,880	
固定資産合計		4,000,435
資産合計		35,394,029
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	4,843,000	
仮受金	14,500	
預り源泉所得税	130,598	
預り金	23,000	
流動負債合計		5,011,098
負債合計		5,011,098
III 正味財産の部		
正味財産		30,382,931
正味財産合計		30,382,931

平成22年度各部決算

単位：円

	予算額	決算額	差異	備考
総務部	9,554,000	9,783,067	▲ 229,067	
財務部	993,000	1,048,620	▲ 55,620	
厚生部	745,000	628,620	116,380	
広報部	613,000	505,686	107,314	
研修部	1,207,000	856,014	350,986	
卒後教育部	1,077,000	713,022	363,978	
卒前教育部	195,000	135,951	59,049	
保健福祉部	3,354,000	3,195,610	158,390	
渉外部	957,000	942,493	14,507	
理学療法啓発部	1,568,000	1,126,164	441,836	
資料調査部	532,000	546,930	▲ 14,930	
システム管理部	1,029,000	944,520	84,480	
スポーツ活動支援部	1,737,000	1,431,597	305,403	
職能部	127,000	114,042	12,958	
健康増進部	778,000	614,389	163,611	
ホームページ部	318,000	315,294	2,706	
阪神南尼崎ブロック	317,000	123,071	193,929	
阪神南西宮芦屋ブロック	357,000	331,853	25,147	
阪神北ブロック	288,000	243,543	44,457	
神戸東ブロック	323,000	377,181	▲ 54,181	
神戸西ブロック	187,000	202,023	▲ 15,023	
東播磨ブロック	253,000	153,836	99,164	
中播磨ブロック	313,000	310,499	2,501	
西播磨ブロック	376,000	331,386	44,614	
北播磨ブロック	209,000	193,391	15,609	
但馬ブロック	130,000	68,294	61,706	
淡路ブロック	276,000	271,417	4,583	
会誌編集委員会	1,433,000	1,049,798	383,202	
選挙管理委員会	87,000	43,260	43,740	
表彰委員会	302,000	265,485	36,515	
第23回兵庫県理学療法士学会補助金	2,162,000	1,277,067	884,933	
第24回兵庫県理学療法士学会準備金	100,000	286,860	▲ 186,860	
研修部講習会運営費	900,000	897,530	2,470	
近畿理学療法士学会分担金	1,275,000	1,412,500	▲ 137,500	
第47回日本理学療法学会大会準備金	1,500,000	1,500,000	0	
日本理学療法士協会講習会準備	50,000	49,193	807	

平成22年度各部決算

単位：円

	予算額	決算額	勘定科目	金額	差異	備考
総務部	9,554,000	9,783,067	会議費	93,238	▲ 229,067	
			通信運搬費	2,773,432		
			旅費交通費	1,044,470		
			印刷製本費	2,136,748		
			消耗品費	106,900		
			賃借料	1,116,000		
			光熱水費	77,500		
			委託費	69,100		
			リース料	219,240		
			保険料	5,980		
			負担金	40,000		
			雑費	38,666		
			慶弔費	50,000		
			什器備品費	619,293		
			給料手当	1,378,580		
			租税公課	1,000		
			交際費	12,920		
財務部	993,000	1,048,620	通信運搬費	91,890	▲ 55,620	
			旅費交通費	53,700		
			消耗品費	26,765		
			委託費	807,500		
			雑費	45,765		
			租税公課	23,000		
厚生部	745,000	628,620	会議費	15,600	116,380	
			旅費交通費	55,020		
			雑費	0		
			交際費	558,000		
広報部	613,000	505,686	会議費	24,199	107,314	
			消耗品費	710		
			旅費交通費	37,320		
			通信運搬費	500		
			印刷製本費	441,487		
			雑費	1,470		
研修部	1,207,000	856,014	会議費	48,973	350,986	
			通信運搬費	2,260		
			旅費交通費	199,240		
			消耗品費	34,218		
			賃借料	45,000		
			雑費	2,545		
			諸謝金	88,888		
			研修費	400,000		
			交際費	34,890		
卒後教育部	1,077,000	713,022	会議費	53,264	363,978	
			旅費交通費	280,450		
			通信運搬費	7,700		
			消耗品費	83,173		
			賃借料	142,200		
			雑費	1,319		
			諸謝金	144,443		
			交際費	473		
卒前教育部	195,000	135,951	会議費	23,540	59,049	
			旅費交通費	93,580		
			消耗品費	2,151		
			賃借料	16,440		
			通信運搬費	240		

単位：円

	予算額	決算額	勘定科目	金額	差異	備考
保健福祉部	3,354,000	3,195,610	会議費	229,030	158,390	
			通信運搬費	302,640		
			旅費交通費	1,308,190		
			印刷製本費	555,740		
			消耗品費	245,970		
			賃借料	380,750		
			雑費	2,520		
			諸謝金	105,553		
			交際費	65,217		
渉外部	957,000	942,493	会議費	13,684	14,507	
			通信運搬費	9,430		
			旅費交通費	43,540		
			消耗品費	11,429		
			雑費	210		
			保険料	859,410		
			負担金	4,790		
理学療法啓発部	1,568,000	1,126,164	会議費	95,291	441,836	
			通信運搬費	52,650		
			旅費交通費	371,770		
			印刷製本費	103,110		
			消耗品費	491,543		
			雑費	840		
			修繕費	6,720		
			賃借料	4,240		
資料調査部	532,000	546,930	会議費	81,200	▲ 14,930	
			通信運搬費	58,670		
			旅費交通費	238,560		
			消耗品費	168,500		
システム管理部	1,029,000	944,520	会議費	3,850	84,480	
			旅費交通費	7,440		
			修繕費	182,490		
			雑費	1,470		
			委託費	17,000		
			システム開発費	732,270		
スポーツ活動支援部	1,737,000	1,431,597	会議費	35,588	305,403	
			通信運搬費	51,017		
			旅費交通費	704,840		
			消耗品費	247,160		
			雑費	21,855		
			諸謝金	269,656		
			交際費	19,992		
			什器備品費	81,489		
職能部	127,000	114,042	旅費交通費	71,820	12,958	
			諸謝金	22,222		
			交際費	20,000		
健康増進部	778,000	614,389	会議費	10,786	163,611	
			通信運搬費	1,340		
			旅費交通費	494,600		
			消耗品費	44,429		
			雑費	29,901		
			諸謝金	33,333		
ホームページ部	318,000	315,294	通信運搬費	125,748	2,706	
			旅費交通費	4,320		
			消耗品費	126		
			委託費	157,500		
			雑費	840		
			什器備品費	26,760		
阪神南尼崎プロッ	317,000	123,071	会議費	20,670	193,929	
			通信運搬費	10,270		

単位：円

	予算額	決算額	勘定科目	金額	差異	備考
神戸東ブロック	378,000	377,181	会議費 通信運搬費 旅費交通費 消耗品費 印刷製本費 雑費 諸謝金 賃借料	47,915 30,400 90,400 12,673 99,015 945 33,333 62,500	819	
神戸西ブロック	187,000	202,023	会議費 通信運搬費 旅費交通費 消耗品費 印刷製本費 諸謝金	8,040 43,270 62,800 3,302 73,500 11,111	▲ 15,023	
東播磨ブロック	253,000	153,836	会議費 通信運搬費 旅費交通費 消耗品費 賃借料 諸謝金	27,190 20,420 48,130 6,252 7,400 44,444	99,164	
中播磨ブロック	313,000	310,499	会議費 通信運搬費 旅費交通費 消耗品費 賃借料 諸謝金	23,423 43,220 152,140 1,050 24,000 66,666	2,501	
西播磨ブロック	376,000	331,386	会議費 通信運搬費 旅費交通費 消耗品費 諸謝金 雑費	51,650 23,280 221,430 17,775 11,111 6,140	44,614	
北播磨ブロック	209,000	193,391	会議費 通信運搬費 旅費交通費 消耗品費 雑費 諸謝金	37,205 2,820 105,560 36,380 315 11,111	15,609	
但馬ブロック	130,000	68,294	会議費 旅費交通費 消耗品費 賃借料 雑費 諸謝金	6,000 25,000 346 3,300 315 33,333	61,706	
淡路ブロック	276,000	271,417	会議費 通信運搬費 旅費交通費 消耗品費 賃借料 諸謝金 交際費	45,600 23,290 124,500 9,907 10,300 55,555 2,265	4,583	
会誌編集委員会	1,433,000	1,049,798	会議費 通信運搬費 旅費交通費 消耗品費 印刷製本費 雑費 諸謝金	5,040 16,620 25,470 100,776 878,830 840 22,222	383,202	
選挙管理委員会	87,000	43,260	印刷製本費 旅費交通費 雑費	40,300 2,540 420	43,740	

単位：円

	予算額	決算額	勘定科目	金額	差異	備考
表彰委員会	302,000	265,485	会議費	26,600	36,515	
			旅費交通費	104,170		
			通信運搬費	5,950		
			雑費	128,765		
第23回兵庫県理学療法士学会	1,647,500	1,277,067	会議費	88,612	370,433	参加費：1347500
			通信運搬費	22,500		
			旅費交通費	228,720		
			印刷製本費	460,000		
			消耗品費	36,099		
			賃借料	211,570		
			雑費	30,050		
			諸謝金	66,666		
			交際費	104,050		
			委託費	28,800		
第24回兵庫県理学療法士学会準備	100,000	286,860	会議費	67,800	▲ 186,860	
			通信運搬費	4,000		
			旅費交通費	130,780		
			消耗品費	2,310		
			賃借料	81,970		
近畿理学療法士学会分担金	1,275,000	1,412,500	負担金	1,412,500	▲ 137,500	
第47回日本理学療法士学術大会準備	1,500,000	1,500,000	仮払金	1,500,000		

第23回兵庫県理学療法士学会決算報告
単位：円

収入の部	
当日参加費	1,347,500
士会より	300,000
合計	1,647,500
支出の部	
会議費	88,612
旅費交通費	228,720
通信運搬費	22,500
消耗品費	36,099
印刷製本費	460,000
賃借料	211,570
諸謝金	66,666
交際費	104,050
委託費	28,800
雑費	30,050
残金（会計に繰入）	370,433
合計	1,647,500

厚生部新人歓迎会収支決算報告

単位：円

収入の部	
参加費	383,000
厚生部より補助	558,000
合計	941,000
支出の部	
飲食代、その他	941,000
合計	941,000

運営基金決算報告

単位：円

収入の部	
繰越金	8,286,000
積立金	800,000
合計	9,086,000
支出の部	
次年度繰越金	9,086,000
合計	9,086,000

事業収入決算報告

単位：円

収入の部	
理学療法士学会参加費	1,347,500
研修部講習会受講費	1,020,000
新人教育セミナー参加費その他	1,017,000
合計	3,384,500
支出の部	
22年度県学会運営費	1,277,067
研修部講習会運営費	897,530
新人教育セミナー運営費	0
残金（会計に繰入）	1,209,903
合計	3,384,500

研修部講習会収支決算報告

単位：円

収入の部	
1回目受講費 14000円×30人	420,000
2回目受講費 12000円×50人	600,000
合計	1,020,000
支出の部	
会議費	76,850
旅費交通費	363,700
通信運搬費	1,410
消耗品費	2,692
諸謝金	377,776
雑費	9,510
交際費	65,592
残金（会計に繰入）	122,470
合計	1,020,000

平成22年度収支決算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

単位：円

大科目	中科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
会費収入		26,520,000	29,963,000	3,443,000	
	正会員会費収入	25,500,000	29,113,000	3,613,000	
	賛助会員会費収入	1,020,000	850,000	▲ 170,000	
入会金収入	入会金収入	625,000	830,000	205,000	
事業収入		2,890,000	3,384,500	494,500	
	研修会整理費収入	2,890,000	3,384,500	494,500	士会主催研修会での参加費
補助金収入		200,000	200,000	0	
	理学療法週間援助金	200,000	200,000	0	日本理学療法士協会から
雑収入		5,000	30,709	25,709	預金利息
事業活動収入計		30,240,000	34,408,209	4,168,209	
2. 事業活動支出の部					
事業費支出		25,099,000	21,919,436	3,179,564	
1 理学療法の普及啓発に関する事業		7,027,000	6,490,421	536,579	
	会議費支出	457,000	332,757	124,243	打合せ会議等
	通信運搬費支出	1,268,000	987,345	280,655	切手代等
	旅費交通費支出	2,988,000	2,575,920	412,080	スタッフ交通費
	消耗品費支出	992,000	858,892	133,108	コピー用紙等
	印刷製本費支出	430,000	687,135	▲ 257,135	パンフレットほか
	賃借料支出	284,000	203,390	80,610	会場使用料
	諸謝金支出	460,000	486,319	▲ 26,319	講師謝礼
	什器備品費支出	0	108,249	▲ 108,249	パソコンソフト等
	交際費支出	35,000	31,918	3,082	講師接待
	委託費支出	0	157,500	▲ 157,500	
	修繕費支出	50,000	6,720	43,280	備品メンテナンス
	雑費支出	63,000	54,276	8,724	
2 理学療法に関する調査、研究及び広報に関する事業		1,145,000	1,052,616	92,384	
	会議費支出	120,000	105,399	14,601	打合せ会議等
	通信運搬費支出	100,000	59,170	40,830	切手代等
	旅費交通費支出	321,000	275,880	45,120	スタッフ交通費
	消耗品費支出	15,000	169,210	▲ 154,210	コピー用紙等
	印刷製本費支出	525,000	441,487	83,513	士会だより製作
	諸謝金支出	34,000	0	34,000	講師謝礼
	賃借料支出	30,000	0	30,000	会場使用料
	雑費支出	0	1,470	▲ 1,470	
3 理学療法士の学術及び技能の向上に関する事業		10,975,000	9,581,746	1,393,254	
	会議費支出	845,000	739,667	105,333	打合せ会議等
	通信運搬費支出	611,000	450,090	160,910	切手代等
	旅費交通費支出	3,122,000	2,841,640	280,360	スタッフ交通費
	消耗品費支出	534,000	691,791	▲ 157,791	コピー用紙等
	交際費支出	300,000	260,088	39,912	講師接待
	賃借料支出	1,823,000	1,175,440	647,560	会場使用料
	諸謝金支出	1,223,000	866,660	356,340	講師謝礼、原稿料
	印刷製本費支出	692,000	642,975	49,025	冊子製作
	委託費支出	0	28,800	▲ 28,800	
	図書費支出	0	20,000	▲ 20,000	
	負担金支出	1,275,000	1,412,500	▲ 137,500	近畿学術集会
	研修費支出	400,000	400,000	0	病院研修
	雑費支出	150,000	52,095	97,905	

大科目	中科目	予算額	決算額	差異	備考
4 理学療法士の人格及び倫理の高揚に関する事業		2,633,000	1,853,551	779,449	
	会議費支出	140,000	81,844	58,156	打合せ会議等
	通信運搬費支出	27,000	24,560	2,440	切手代等
	旅費交通費支出	556,000	354,280	201,720	スタッフ交通費
	消耗品費支出	34,000	186,100	▲ 152,100	コピー用紙等
	印刷製本費支出	1,283,000	878,830	404,170	冊子製作
	賃借料支出	300,000	158,640	141,360	会場使用料
	諸謝金支出	257,000	166,665	90,335	講師謝礼、原稿料
	雑費支出	1,000	2,159	▲ 1,159	
	交際費支出	35,000	473	34,527	講師接待
5 理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に関する事業		1,759,000	1,587,035	171,965	
	会議費支出	47,000	33,524	13,476	打合せ会議等
	通信運搬費支出	61,000	27,600	33,400	切手代等
	旅費交通費支出	241,000	85,620	155,380	スタッフ交通費
	消耗品費支出	16,000	22,881	▲ 6,881	コピー用紙等
	交際費支出	500,000	558,000	▲ 58,000	会員交流
	保険料支出	892,000	859,410	32,590	傷害保険
	賃借料支出	2,000	0	2,000	
6 その他本会の目的を達成するために必要な事業		1,560,000	1,354,067	205,933	
	会議費支出	92,000	32,650	59,350	打合せ会議等
	通信運搬費支出	21,000	5,950	15,050	切手代等
	旅費交通費支出	288,000	206,250	81,750	スタッフ交通費
	消耗品費支出	19,000	0	19,000	コピー用紙等
	負担金支出	5,000	4,790	210	他団体の会費
	修繕費支出	0	182,490	▲ 182,490	
	委託費支出	0	17,000	▲ 17,000	
	諸謝金支出	34,000	22,222	11,778	講師謝礼
	交際費支出	0	20,000	▲ 20,000	パソコン等
	雑費支出	117,000	130,445	▲ 13,445	
	システム開発費支出	984,000	732,270	251,730	データベース構築
管理費支出		10,093,000	10,370,770	▲ 277,770	
	会議費支出	263,000	95,598	167,402	理事会会議等
	通信運搬費支出	2,972,000	2,349,752	622,248	切手代等
	旅費交通費支出	802,000	1,105,890	▲ 303,890	スタッフ交通費
	消耗品費支出	506,000	137,623	368,377	コピー用紙等
	印刷製本費支出	1,450,000	2,177,048	▲ 727,048	総会資料等
	賃借料支出	1,116,000	1,116,000	0	事務所家賃
	給料手当支出	1,200,000	1,378,580	▲ 178,580	事務員給与
	光熱水費支出	90,000	77,500	12,500	事務所電気代等
	委託費支出	788,000	876,600	▲ 88,600	税理士顧問料
	保険料支出	6,000	5,980	20	事務員労働保険
	負担金支出	0	40,000	▲ 40,000	
	雑費支出	80,000	84,746	▲ 4,746	
	慶弔費支出	50,000	50,000	0	冠婚葬祭での電報
	交際費支出	0	12,920	▲ 12,920	
	リース料支出	0	219,240	▲ 219,240	コピー機
	租税公課支出	20,000	24,000	▲ 4,000	法人県、市民税等
	修繕費支出	20,000	0	20,000	パソコンメンテナンス等
	什器備品費支出	730,000	619,293	110,707	パソコン等
事業活動支出計		35,192,000	32,290,206	2,901,794	
事業活動収支差額		▲ 4,952,000	2,118,003	7,070,003	
II 投資活動収支の部					
投資活動支出					
固定資産取得支出		800,000	800,000	0	
III 予備費支出					
予備費支出		948,000	0	948,000	
当期収支差額		▲ 6,700,000	1,318,003	8,018,003	
前期繰越収支差額		6,700,000	11,038,351	4,338,351	
次期繰越収支差額		0	12,356,354	12,356,354	

表 彰

表彰委員会委員長 梶平 司

本会が定める表彰には「会長賞」「会長特別賞」「功労賞」「奨励賞」がある。本年度は「会長賞」1名、「功労賞」2名、「奨励賞」2名を候補者として推薦した。3月の理事会 局長会議にその名簿を提出した。(社)日本理学療法士協会「協会賞」には候補者1名を推薦した。

■ (社) 兵庫県理学療法士会 「会長賞」「功労賞」「奨励賞」の推薦

「会長賞」 沖山 努 (神戸リハビリテーション病院)

「功労賞」 平山 昌男 (兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター)

〃 畠 康博 (市立加西病院)

「奨励賞」 杉原 勝由 (太子町役場)

〃 三星 健吾 (三木市立三木市民病院)

■ (社) 日本理学療法士協会「協会賞」の推薦

嶋田 智明 (神戸大学大学院保健学研究科)

敬称略